

多彩な暮らし、叶えるまち。— 田園都市しおじり —

塩尻西部学校区版

地域と学校とが協働して取り組む
塩尻市 コミュニティ・スクール
2025年度 実践集

2025年度 塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える

～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

熟議

協働

マネジメント



[絵] 広丘小3年
高橋 璃菜 さん
「みんなで育てた
おいしいぶどう」



塩尻市 HP



塩尻市教育委員会

○巻頭言 塩尻市コミュニティ・スクール10年 そして ……1

塩尻市 教育長 佐倉 俊

■ **塩尻中学校区版 10年の取組**

- *塩尻東小…………… 2~23
- *塩尻西小……………24~45
- *塩尻中……………46~67

塩尻市CS&公民館フェスタ



■ **広陵中学校区版 10年の取組**

- *桔梗小…………… 2~23
- *広丘小……………24~45
- *広陵中……………46~67

■ **丘中学校区版 10年の取組**

- *片丘小…………… 2~23
- *吉田小……………24~45
- *丘中……………46~67



■ **塩尻西部中学校区版 10年の取組**

- *宗賀小…………… 2~23
- *洗馬小……………24~45
- *塩尻西部中……………46~67



■ **楡川小中学校・両小野学園版 10年の取組**

- *楡川小中(義務教育学校)…………… 2~51 (含特別寄稿)
- *両小野学園(小野保育園・北小野保育園・両小野小・両小野中)
……………52~97 (含特別寄稿)

● <特別寄稿>「コミュニティ・スクール10年を振り返る」 ……68~69

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」 ……70~72 (98~100)

*平成29年度第1~2回学校運営協議会におけるGW(カレカク)を通して共有したもの

◆ 「塩尻市教育委員会の窓から」 ……73~74 (101~102)

塩尻市コミュニティ・スクール 10年 そして

平成 28 年 4 月、塩尻市内のすべての小・中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとしての活動がスタートしました。そのコミュニティ・スクールは、今年度 10 年目（両小野学園は 11 年目）という節目の年を迎えました。これまでの各校のコミュニティ・スクール活動の推進に、ご理解ご協力を賜りました、すべての皆様に感謝を申し上げます。

この取組みは、「一人ひとりの育ちに、ていねいに向き合う教育」を理念とした塩尻市教育振興基本計画において、育てたい人間像として定めた、「社会を生き抜く力を備えたひと、郷土を知り、誇りと愛着をもったひと」の育成に、コミュニティ・スクールというツールが最も有効であると考えたことから始まりました。この 10 年間を振り返ると、子どもたちに社会を生き抜く力や郷土に対する誇りと愛着を育もうと、地域と学校が力を合わせ一生懸命取り組み、多くの「こと」や「もの」を創り上げてきました。その結果、その学校らしい、またその地域らしい特色ある活動が創り出され、徐々にステップ・アップし、10 年たった今では伝統となりつつある「こと」や「もの」もあります。そして、一番の成果として、子どもたちを中心として、地域の多くの「ひと」がつながりました。

一方、軌道に乗り出したコミュニティ・スクール活動でしたが、令和元年度末からの約 3 年間は、コロナ禍により、創り上げてきた多くの活動が制限を受け、足踏みをしました。各校が分散登校やオンライン授業、学級・学年閉鎖という出口の見えないトンネルの入口に立たされた中でも、各コミュニティ・スクールは、校内の消毒、オンラインでの活動や感染対策を万全にした上での活動などに創意工夫して取り組んできました。令和 2 年度の実践集のテーマは「アンダー コロナ禍 未来につながる大きなチャレンジ！」です。この困難な状況に対しても、地域と学校が力を合わせ、前を向いて乗り越えてきたチャレンジが、今につながっています。

コロナ禍を経験した私たちは、子どもたちの豊かな成長には、子どもたちが多様な「ひと・こと・もの」と出会い、交流するなどの体験活動が欠かせないこと、また、よりよい地域づくりには、学校を核として「ひと」がつながり、「こと」や「もの」を創造していく営みが欠かせないことを実感しています。この実感をもとに取り組んできました、ここ数年のコミュニティ・スクール活動は、コロナ禍前に戻るだけではなく、さらに充実、進化を遂げています。そのような他校の実践に学びつつ、これからの 10 年を見据えて、自校の実践の取組みを広げたり質を高めたりするために、本実践集をご活用いただければ幸いです。

塩尻市教育長 佐倉 俊



わくわくする探究的な学びを目指して

宗賀小学校コミュニティ・スクールは、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの成長を支える取り組みをしています。地域資源を活用した多様な活動を通して、子どもたちの学びを深め、心豊かな成長を促し、地域との絆を育んでいます。

学びを深める活動を



地域から学び、ふるさとを誇りに 思う心を育てます



農業体験学習では、にんじんやじゃがいも、さつまいも、大豆など、年間を通してさまざまな作物を育て、収穫しています。土に触れるたびに、子どもたちは「命を育てる」ということを実感します。

10月にさつまいもを掘り上げたときには、「こんなに大きい！」と子どもたちから歓声が上がりました。その笑顔は、地域の皆さんや私たち職員にとっても大きな喜びになっています。

5年生はブドウの栽培体験学習を行っています。単なる体験で終わることなく、「収穫したもので何ができるか」と調理をしたり、「特産のブドウを外国にも伝えたい」と、台湾の小学生と英語で交流したりして、子どもたち一人一人が課題をもって解決していく「探究的な学び」へとつなげています。



6年生は、校地内にある竪穴住居のこれからを考えました。卒業制作としてたくさんの人の思いや願いが詰まった「夢の家」。その思いをどう受け継ぎ、何を未来へつないでいくのか。子どもたちは、目で見て、心で感じ、自分たちなりに真剣に考えました。



ふるさと学習『すがの』は、宗賀の文化や伝統を体験的に学びます。「福祉体験」「スポーツ体験」「ものづくり体験」「宗賀地区の歴史探訪」等々、地域の方々が先生となり交流する中で、子どもたちの目はいきいきと輝きます。



ニジマスの放流

森の健康診断



どんぐり広場
子どもたちの思いや願いを形にする場所です

その他の
自然体験学習



椎茸の駒打ち



育ちを支える活動を

重層的な取り組み
B

子どもたちが安心して過ごせる居場所をつくります



毎週どこかの教室では、本の読み聞かせをしています。読み聞かせの時間には、静かな教室に温かな声が響き、本の世界に浸って心が落ち着く時間となっています。



『すがのわくわくルーム』は、地域の方と触れ合える交流スペースです。毎週水曜日に開かれていて子どもたちが安心して過ごせる居場所となっています。遊びや談話を通して笑い声が響くその空間は、子どもたちにとって、まさに心の拠り所となっています。

授業支援サポートでは、保護者や地域のボランティアの皆さんが子ども一人ひとりに寄り添い、その可能性を広げています。子どもたちの成長を間近で感じられることも、この活動の大きな魅力です。

また、このようなスポット的なボランティアに参加していただくことで、支援に関わってくださる方の輪がさらに広がっていくことを願っています。

こうした活動は、地域の多様な専門部の力によって支えられています。学習支援、読書活動、見守りボランティアの安全安心、わくわくルーム 等々、地域の方一人一人の力が集まって、大きな輪となっています。



「ひと・もの・こと」
地域とつながる活動を

重層的な取り組み
C

地域の一員として実感しながら輝く場を広げます



地域の祭りで演奏する金管バンドでは、子どもたちが地域の一員として胸を張り、誇りを持って活動しています。『地域の人に見てもらえるとなんだか頑張れる』。支えてくれる人がいる安心感が、挑戦する力につながっているのを感じます。



地域公開参観日には、収穫した野菜を使って作った「宗賀カレー」を、お世話になった地域の皆さんと一緒にいただきます。サツマイモは焼き芋にして全校でいただきます。お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える機会にもなっています。

私たちが目指すのは



これらの活動を通して、子どもたちが「自分の力で 創造的に 対話やつながりを感じながらよりよく解決していく姿」へと成長し、確かな自信を持って力強く歩いていってくれることを願っています。

そして、学校、地域、家庭——それぞれが役割を担い、子どもたちの未来を共につくる。宗賀小学校のコミュニティ・スクールの取り組みは、その連携の輪の中で成り立っています。

これからも地域と学校、家庭とが、よりよくつながり支え合いながら、地域を愛する宗賀の子どもたちを育てていきます。

令和7年度 宗賀小学校 学校支援計画

内容	全体	学習支援部	特別支援教育支援部	キャリア教育支援部	すがのわくわくルーム支援部	読書活動支援部	安全・安心支援部	部活動支援部	学校環境整備支援部
4月	協議会・研修会・行事等 9日・小委員会(学運協地教協打合) 18日・学校運営協議会① 地域教育協議会① (ボランティア奉足の会) 21日・4年ジャガイモ植え 22日・交通安全教室② 23日・4年しいたけ駒打ち	すがの、歴史・調理・補修・農業 どんぐりプロジェクトとの連携 すがのの畑打合せ4/10 畑作支援 (すがのの畑・学級園) ジャガイモ植え(4年)4/21 椎茸駒うち4/23(4年)4/23	行事支援	ぶどう栽培 ぶどう栽培体験(5年生)	わくわくルーム支援 わくわくルーム支援 児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ 蔵書点検・ボランティア募集 読み聞かせ活動 クラスの要望にあわせて月1~ 2回、月・金)シールド	安全パトロール (熊対策安全見守り) ◇安全の日4/7 安全パトロール 22日交通安全教室①	金管クラブ 練習・運搬補助 金管バンド(通年) *練習予定(都合の良い日) 1年生を迎える会入場曲	入学式生花 生花・環境整備
5月	8日・3年人参種まき 14日・サツマイモ植え (可能なら親子レク) 16日・3年ヤマメの放流 17日・PTA作業① 22日・3年ヤマメの放流予備日 31日・運動会	にんじんの種まき(3年)5/8 サツマイモ植え(1年)5/14 奈良井川 ヤマメの放流 5/16 (3年)	・畑 ・バケツ稲体験	ぶどう栽培体験	児童の見守り 花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日5/1 安全パトロール	運動会へ向けての練習	PTA作業① メイン花壇・理科園耕運 機土起こし・肥料入れ
6月	4・5日・プールの清掃 10日・大豆の種まき(2年) 17日・中学校区学運協・小中合同打ち合わせ 会(洗馬小) 19日・5・6年参観日	大豆種まき(2年)6/10 どんぐりの森探検引率補助	・どんぐりの森探検 引率	ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日 6/3 安全パトロール	6/1 宗賀小運動会	5日 プール清掃① 6日 プール清掃② 校庭 草刈り
7月	1日・1・2年参観日 11日・3・4年参観日 24日・中学校区小中CS交流会(総文) 25日・遠足下見	ジャガイモ収穫(4年)		ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日7/1 安全パトロール	博物館祭り・玄蕃まつりへ向 けての練習 校内ミニコンサート *休日練習も	
8月	31日・PTA作業②			ぶどう栽培体験	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動		博物館祭りへ向けての練習	PTA作業②
9月	4日・ふるさと学習すがの①AM 11日・ふるさと学習すがの②AM 18日・ふるさと学習すがの③AM 19日・地域公開参観日 宗賀の日① 26日・4年森の健康診断 29日・4年森の健康診断予備日	人参の収穫 ふるさと学習すがの① ふるさと学習すがの② ふるさと学習すがの③ サツマイモ収穫(1年)		ぶどう収穫体験 (ぶどう園見学)	児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日 9/1 安全パトロール	博物館祭り・音楽会へ向けて の練習 *休日練習も	
10月	2日・ふるさと学習すがの④ 3日・1・2年遠足 15日・遠足予備日 19日・CSフェスタ2023(ふるさと宗賀展) 31日・音楽会	ふるさと学習「すがの」④ 1・2年生活科遠足引率 畑の片づけ (すがのの畑・学級園)		ぶどう収穫体験 (ぶどう園見学)	児童の見守り	読み聞かせ活動	◇安全の日10/1 安全パトロール	13日塩釜南部地区吹奏楽祭 19日宗賀地区文化祭 31日 音楽会	
11月	8日PTA作業③ 12日・宗賀の日②(縦割り焼き芋会) 14日・学社連携・協働フォーラム 19日・学運協地教打ち合わせ16:00	宗賀の日②11/12 (縦割り焼き芋会)	宗賀の日②	宗賀の日②	児童の見守り 宗賀の日② プランター・花壇作業	読み聞かせ活動 宗賀の日② 来入見保護者会活動紹介	◇安全の日11/4 安全パトロール 宗賀の日②	校内ミニコンサート	メイン花壇・理科園耕運 機土起こし、肥料入れ
12月	19日・職員合同学校運営協議会③	しめ縄作り(2年)	しめ縄リースづくり		児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日12/1 安全パトロール	メモリアルコンサートに向けて	
1月	21日・学運協④打ち合わせ16:00	大豆の加工(2年) とうふ作り	・ピザづくり		児童の見守り プランター・花壇作業	読み聞かせ活動	◇安全の日1/8 安全パトロール	18日メモリアルコンサート	
2月	6日・5学年参観日 10日・3・4年参観日 13日・1・2年参観日 14日市CS連絡協議会CS市民集会 17日・6年参観日 27日・学校運営協議会④17:00 ・地域教育協議会②16:00				児童の見守り プランター作業	読み聞かせ活動 図書館環境ボランティア	◇安全の日2/2 安全パトロール		
3月	17日・卒業式	畑耕し			児童の見守り プランター作業		◇安全の日3/2 安全パトロール		卒業式生花

子どもたちの好きな 総合的な学習・生活科から
わくわくする学び・探究的な学びへ一歩進めよう
 つながる「ひと・もの・こと」 宗賀小学校コミュニティ・スクール

5 学年 ぶどうプロジェクト ～地域との関りを大切に～



ぶどうの収穫



ぶどうを使った調理



ぶどうパーティー

毎年、5年生が引き継いできたぶどう栽培ですが、今年はぶどうを育てるだけでなく、もう一歩進んだ探究的な学びに子どもたちと挑戦してみました。収穫したぶどうを使って、お世話になった方に感謝の気持ちを伝えようと、お菓子作りに挑戦し、できたお菓子でぶどうパーティーを開きました。感謝の気持ちを伝えるために丁寧に作りたい。美味しいと言ってもらえるお菓子作り。と、子どもたちは常に相手を意識した取り組みの中で相手に喜んでもらえることで感じる充実感や探究的に取り組むことでの達成感を味わうことができました。

6 学年 開校150周年プロジェクト ～ふるさとに学ぶ～



「そうがの自然を知ろう」



「どんぐり橋づくり」皮むき



150周年まつりでの発表

今年度は開校150周年という節目の年であり、6学年では、総合的な学習で「わくわく150周年プロジェクト～宗賀のよさをみんなに伝えよう～」というテーマで、プロジェクトに分かれて活動を行いました。全校でなかよくなる活動、150周年のおまつりを企画する活動、記念のキャラクターや教室の看板を作る活動など自分たちで考え、計画し、必要なことを準備して協力して行ってきました。その中でも、どんぐりの森の生き物を知ってもらう活動やどんぐりの広場の古くなった橋を新しく作り直す活動では、コミュニティ・スクールの方にたくさん支援してもらいました。橋づくりでは、どんな橋をつくりたいか相談し、どんぐりの森で材料の木の伐採に立ち会ったり、その木の皮を皮引きの道具で剥いたりして、宗賀の自然に関わってたくさんのことを学びながら活動を行うことができました。春になって、今までいっぱい遊んで四季を楽しんできたどんぐり広場に、感謝の気持ちをこめて自分たちで考えた橋を架けるのを、みんなで心待ちにしています。

みんなが集い 一緒に楽しむ ワクワクする学校

共に汗をかき、共に笑う 宗賀小学校

お家の方や地域の方と一緒に祝った開校150周年記念行事



復活！全校ダンス



バルーンリリース



宗賀小の歴史劇



交響楽団と校歌合唱

どんぐり広場で親子レク



親子で楽しみました

読み聞かせ



お話楽しいな

わくわくルームはみんなが笑顔



毎週2時間目休みに、ボランティアさんと遊ぶよ



宗賀の日① 「ちくわカレー」



宗賀の日② 「たてわりやきいも会」



全校で取り組む栽培活動と収穫祭！一緒に育てたボランティアさんと楽しくカレーや焼き芋を味わいました。

課外活動やクラブ活動、環境整備など、たくさんの学習環境の支援をしてもらっています！



プール清掃



校庭の除草



畑の柵作り



ふるさと学習「洗馬の歴史」

『これからも、地域とともに』今年も、体験活動を「わくわくする学び・探究的な学びへ一歩進めよう」と学校運営協議会やボランティアさんと事前に話し合っ取り組みました。また、開校150周年でもあり、地域の方やお家の方に学校に来ていただき、子どもたちや職員と触れ合う機会を多くするようにしました。これからも、宗賀小学校を地域の方々・子どもたち・職員が、気軽に集い、交流する場にして、わくわくする学び・探究的な学びへ二歩、三歩と進めていきたいと思ひます。

ふるさとで遊び・ふるさとに学ぶ 宗賀っ子

つながる「ひと・もの・こと」 宗賀小学校 コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールの活動をほぼ計画通り行うことができました。今年は、「お願いしますの会」や「収穫祭」等地域の方々に学校に来ていただく機会を多く設けました。充実した1年を送ることができました。

大好き！「どんぐりの森」 ～ふるさとで遊ぶ～



オニヤンマを捕まえるよ



木いちごあまずつばいよ



ターザンロープ楽しいな

「どんぐりプロジェクト♪」の皆さんは、学校の近くの「どんぐりの森」の整備をし、宗賀の自然や地域と子どもたちをつなぐ仲立ちになっていただいています。子どもたちは展望台やターザンロープ、山の斜面を生かしたそりすべりなどで思いっきり遊び、オニヤンマや木苺などの四季折々の自然に触れ、生き生きと野山を駆け回って様々な発見をしており、「どんぐりの森」は豊かな学びの場になっています。生き物マップ作り、木苺ジャムづくり、親子レクリエーション等の活動につながっていききました。

収穫の喜びを味わって 全校で準備「宗賀の日」 ～ふるさとに学ぶ～



1・6年サツマイモ収穫



4・5年ふるさと学習でまき割体験



全校で焼き芋会

学校近くの「すがのの畑」では、地域の方のお力を借り、3・5年がにんじん、2・4年がじゃがいも、1・6年がさつまいもを育てています。にんじんとじゃがいもは、「宗賀の日①」に給食のカレーにして味わいます。また「宗賀の日②」として行う全校焼き芋会では、全校で焼き芋の準備をして、5年生がどんぐりプロジェクトの方に火おこしや燻の作り方を教えていただき焼きます。そして、焼き芋を全校で一緒に味わいます。ボランティアさんをお招きし、子どもたちと一緒にカレーや焼き芋を味わっていただきました。

宗賀という地域・自然・人から、学ぶ



3年 ヤマメの放流



4年 育樹祭で間伐



全校読み聞かせ



6年 宗賀の歴史学習



5年 プロに教わるぶどう栽培



2年 しめなわ作り



1・2・6年 平出遺跡見学

ボランティアの皆様には、今年度も様々な子どもたちの活動をご支援いただきました。教室の先生でない先生(漁業組合・森林組合など)からは、ふるさと宗賀の自然について教えていただきました。その分野に詳しいご専門の方々に、ぶどう栽培・読み聞かせ・ふるさと学習などの活動を直接ご指導・ご支援いただき、子どもたちにとって「本物」の経験につながり、学びを深めることができました。

子どもたちのために

環境整備や野外活動・登下校の際の見守り、金管クラブ支援など、多くの場面で、今年もお世話になりました。「子どもたちのために」と手を差し伸べてくださる方々に感謝です。



プール清掃



すがのわくわくルーム



「夢の家」周辺立木伐採



「これからも、地域とともに」「ふるさとで遊び・ふるさとに学ぶ」地域の方との自然体験や交流体験が、子どもたちのふるさと宗賀地域への思いや願いを育み、子ども達の豊かな学びの土台につながっています。今年度は地域の方に学校に来ていただき、子どもたちや職員と触れ合う機会を多くするようにしました。12月の学校運営協議会では運営委員と職員が一堂に会し、CSの活動について討議し、活動の成果と課題を確認しました。

また、地域の方に気軽に足を運んでもらえるよう「すがのルーム」をCSルームにしました。水曜日の2時休みには、ボランティアさんたちと子どもたちが楽しく遊んでいます。さらに、地域の方々・子どもたち・職員が、気軽に集い、交流する場にして、そこから、いろいろな学びのアイデアや工夫が出てくる場にしていきたいと思ひます。

体験でつながる「ひと・もの・こと」

～宗賀小学校 コミュニティ・スクール～

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、コミュニティ・スクールの活動が思うように行えませんでした。しかし、地域の方のご協力を得て感染予防に留意しながら工夫を凝らし、子どもたちの活動を支援していただきました。充実した1年を送ることができました。

収穫の喜びを味わって…「すがのの畑」



例年行われている「宗賀の日」のちくわカレー作り。今年も「すがのの畑」で姉妹学級ごとに、カレーに入れる野菜作りに取り組みました。1・6年はサツマイモ、2・4年はジャガイモ、3・5年はニンジンを作りました。ボランティアの皆さんが、苗の植え方や種の蒔き方を丁寧に教えてくださり、秋にはどの野菜もたくさんの量を収穫することができました。土の中から出てくる野菜を夢中になって掘り進める子どもたち。満面の笑みから収穫の喜びが伝わってきました。最後は、自分たちで育てた野菜を使ったちくわカレーを給食で作っていただき、全校でおいしくいただくことができました。また、2年生は大豆づくりにも取り組みました。大豆の収穫の際は、唐箕（とうみ）も登場し、人々の知恵に目を丸くする子どもたちでした。畑での活動が終わるにあたって、子どもたちは、サツマイモの茎やマルチの始末、畑に藁を蒔くといった活動も行いました。収穫だけでなく、畑に感謝し、来年の土づくりのための準備をしていく…そんなことにも目を向けることができました。

できることを工夫して…縦割り焼き芋会



11月に1・6年生が栽培したサツマイモを使って、全校で縦割り焼き芋会を実施しました。燻づくりを担当した5年生に、ボランティアの皆さんが火おこしや燻の作り方などを教えてくださいました。予定していた縦割り遊びは感染状況により実施することができませんでしたが、5年生が中心となって作ってくれた焼き芋をおいしくいただきました。炭の後片付けまでボランティアさんに教わった5年生。全校のために動けた自分たちに自信を持ち、6年生から引き継ぐ心構えをもつ機会ともなりました。

宗賀という地域・自然・人から、学ぶ



ふるさとの遊びに浸る
～どんぐりの森・奈良井川～



ふるさとの自然を学ぶ
～ヤマメの放流・森の健康診断～



プロに教わるブドウ栽培



本の世界に浸る読み聞かせ



郷土を知る「ふるさと学習」

ボランティアの皆様には、今年度も様々な子どもたちの活動をご支援いただきました。どんぐりの森や奈良井川といった宗賀の自然の中で思いっきり遊びに浸れたのも、ボランティアの皆様の見守りやご準備があったからです。また、教室の先生でない先生（漁業組合・森林組合など）からは、ふるさと宗賀の自然について教えていただきました。その分野に詳しいご専門の方々には、ブドウ栽培・読み聞かせ・ふるさと学習といった活動を直接ご指導・ご支援いただけたのも、子どもたちにとっては「本物」の経験につながり、学びを深めることができました。

子どもたちのために



環境整備や野外活動・登下校の際の見守り、金管クラブ支援など、多くの場面で、今年もお世話になりました。「子どもたちのために」と手を差し伸べてくださる方々に感謝です。



職員も共に…学校運営協議会

「これからも、地域とともに」今年度も、コロナ禍により活動の中止や内容の変更等が多くなりましたが、それでも工夫を凝らしながら、地域の皆様に子ども達の育ちを支えていただきました。12月の学校運営協議会では、運営委員と職員が一堂に会し、ともに「魅力ある学校づくり」について討議しました。子どもを取り巻く地域、教師といった大人同士が、お互いを知り、互いに支え合いたいという思いを共有できたことは、きっと子どもたちを支える力につながっていく…そう感じる会となりました。

地域の中で、人に学び、のびのび育つ

～宗賀小学校 コミュニティ・スクール～

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、コミュニティ・スクールの活動が思うように行えませんでした。しかし、地域の方のご協力を得て感染予防に留意しながら工夫を凝らし、子どもたちの活動を支援していただきました。充実した1年を送ることができました。

「すがのの畑」で 姉妹学級ごとに 栽培活動



例年行われている「宗賀の日」のちくわカレー作り。今年も姉妹学級ごとに、カレーに入れる野菜作りに取り組みました。1・6年はサツマイモ、2・4年はジャガイモ、3・5年はニンジンを作りました。ボランティアの皆さんが、苗の植え方や種の蒔き方を丁寧に教えてくださり、秋にはどの野菜もたくさんの量を収穫することができました。残念ながらコロナ禍により校庭でのカレー作りは中止となりましたが、自分たちで育てた野菜を使ったちくわカレーを給食で作っていただき、全校でおいしくいただくことができました。

できることを工夫して…縦割り焼き芋会！



ちくわカレー作りは残念ながら実施することはできませんでしたが、縦割り班で収穫の喜びを味わったり活動を楽しんだりすることはできないかと考え、感染状況が落ち着いてきた11月に1・6年生が栽培したサツマイモを使って、全校で縦割り焼き芋会を実施しました。今までに学年やクラスでは行ったことのある焼き芋ですが、全校規模となると初めてのことで難しさもありましたが、ボランティアの皆さんが火おこしや燻の作り方などの準備やお手伝いをしてくださり、無事実施することができました。火の番は5年生、縦割り遊びは6年生が中心となり、皆で楽しく遊びながら、お芋が焼きあがるのを待ちました。燻でじっくり焼き上げたお芋はホクホクで、向かい合いは避け、黙食で頂きながらも、「おいしい！楽しい！」と、笑顔いっぱいの子もたちでした。

ダイナミック！どんぐりプロジェクト♪



どんぐりの森で遊ぶ！



今年初めての試み
漁業組合の方も一緒に
ヤマメの放流



森林組合の方も一緒に
森の健康診断



薪割りに挑戦！

JAの方も一緒に
大豆の栽培・収穫



どんぐりプロジェクト♪の皆さんには、今年度も様々な子どもたちの校外学習をご支援いただきました。野外での活動が多いので、コロナ禍であっても、ダイナミックな活動が展開されました。今年初めての試みとして、奈良井川漁業組合の方に声をかけていただいてヤマメの放流を行うことができました。地域の様々な団体と学校とを繋げていただく役割も担ってくださっています。子どもたちは、地域の中で様々な方々と関わりながら、遊びや体験を通して学びを深めることができました。

環境整備 お世話になりました



今年度も、PTA 作業は2回とも中止となってしまいました。そんな中、保護者や地域のボランティアの有志の方による環境整備が行われ、校舎外が綺麗になりました。

これからも、地域とともに

今年度も、コロナの影響により活動の中止や内容の変更等が多くありましたが、それでも工夫を凝らしながら、地域の皆様に子どもたちの育ちを支えていただきました。またその活動の様子を、宗賀支所の一室をお借りして、パネルや動画をもとに紹介をさせていただくことができました。これからも、地域の人々と関わり支えられながら、多くの体験を通して子どもたちがのびのびと育っていく様子を広く地域に伝え、子どもたちの心にもその歩みをしっかりと残していきたいと思ひます。

地域の人と、地域を学び、のびのび育つ

～宗賀小学校 コミュニティ・スクール～

今年度当初は、コロナウイルス感染症の影響で、コミュニティ・スクールの活動が思うように行えませんでした。しかし、地域の方のご協力を得て感染予防に留意しながら、子どもたちの活動を支援していただき、充実した1年を送ることができたと感じています。

休校中 CSの皆さんに助けていただいたプール掃除



子どもたちが休校のため、いつもは子どもたち中心に行っているプール掃除を職員のみで行おうとしていたところ、ボランティアの皆さんと一緒にやってくれと声をあげてくださいました。半日かけて一緒にプールをきれいにさせていただき、その後、PTA理事の皆さんのプール周り（トイレや更衣室等）の掃除を経て、無事にプールに水をはり、プール開きを迎えることができました。

今年も！ぶどう栽培



休校で心配されたのは栽培活動です。時期を逃すと育てることがむずかしくなるからです。授業時数の確保もあり、実際にできなかった活動もありました。そのような中で、今年度も5年生がボランティアの方に教えていただいて、ぶどうを育てることができ、たくさんのおいしいぶどうを収穫できたことは嬉しい出来事でした。昨年は、保育園の年長さんとぶどうを収穫したり、運動会で来場した方にぶどうをお配りしたりしたのですが、今年度はそれがかなわず、かわりに、感染予防に配慮しながらぶどうをお届けに行きました。休校中、ボランティアの方が、子どもたちが来たらすぐに栽培活動ができるよう準備をしてくださっていたことにも感謝です。

ダイナミック!どんぐりプロジェクト♪



奈良井川で
川遊び!

奈良井宿へ
社会見学!



どんぐりの森で
遊ぶ!

森林公社の方も
一緒に
森の健康診断



どんぐりプロジェクト♪の皆さんには、今年度も様々な子どもたちの校外学習をご支援いただきました。野外での活動が多いので、コロナ禍であっても、ダイナミックな活動が展開されました。子どもたちは、地域の中で、遊びや体験を通して学びを深めることができました。

読み聞かせ



ボランティアの方による読み聞かせは11月から再開しました。子どもたちが読み手の近くに集まることはせず、席でお話を聞くようにして距離をとっています。

感染予防対策をボランティアの方とともに

11月より子どもと一緒に活動するボランティアの方に、健康チェックカードにご記入いただき、玄関での提出にご協力いただいています。

今年度、感染予防に配慮しつつ、ボランティアの皆様と子どもたち・教職員が活動できたことに感謝しています。これからも、子どもたちが地域でのびのびと育っていくことを願って、CSの活動ができたらと思います。



どんぐりプロジェクト♪

～宗賀小学校 コミュニティ・スクール～

「どんぐりプロジェクト♪」は、宗賀財産区の学有林（旧宗賀小・中学校の学校林）を地域と学校が一体となって整備・交流・学び場作りを進める10年先を見通したプロジェクトです。平成28年度にスタートしたこの活動も、今年度で3年目となりました。子どもたちとの活動も多岐に広がっています。

つながる 学校支援ボランティアの方と・地域の方と・友達と



ここは地図のどこ？

【奈良井宿探検 3年】奈良井宿に出かけた3年生。学校支援ボランティアのみなさんに、付き添い、見守っていただきました。歴史の勉強や買い物をして、奈良井のみなさんともつながることができました。そして、友達とのつながりも深まりました。



縦割り班で地域の方とおいしいカレーを食べました。

【宗賀の日 全校】宗賀の日には、全校でカレーライスを作ります。1～3年生は6年生に習って、野菜を切って準備をします。4・5年生は、かまどで、薪に火をつけて、ご飯を炊いてカレーを煮ます。地域の方も縦割り班の児童の輪に入り、一緒にカレーをいただきました。



担任だけではできない活動も、「どんぐりプロジェクト♪」の皆さんに声をかけて、実現できることがあります。1・2年生の遠足では、天候に合わせて近くをまわるミニ遠足を提案し、付き添っていただきました。しめ縄作りやしいたけのこまうちも体験しました。

深める どんぐりの森で広がる活動こそ、活動の深まり



ツリーハウスが完成!

【ツリーハウス ふるさと学習「すがの」】3年前に描いたどんぐりの森の未来予想図。そこにあったツリーハウスが完成しました。ふるさと学習「すがの」の時間に檜の皮むきをし、いよいよ夢が現実になりました。こうしてひとつずつ願いを実現していくことこそ、活動の深さだと思います。



どんぐり1期生の6年生。名前のプレートがハウスに設置されました。

ハンモック 6年

夏のそり 4年

【どんぐりの森で遊ぶ 4年 6年】どんぐりの森にはお楽しみがいっぱいあります。4年生が夏にどんぐりの森で遊びました。そして、ツリーハウスの完成の後、どんぐり1期生の6年生が、卒業を前に遊びに行ってきました。続いているからこそできる、どんぐりの森での活動です。

広める コミスク festa 2019 おたより 報道

今年度は、地域の方に「どんぐりプロジェクト♪」の活動を知っていただくことができたと感じています。それは、地域の方に「楽しそうだね。」「いい活動が展開されているね。」と声をかけていただいたからです。また、本校の卒業生から、「どんぐりプロジェクト♪」の活動取材したいという申し出もいただきました。コミスク festa 2019 や学年通信・学校便り・ホームページ等で学校から発信するとともに、新聞やTVで紹介していただいたことも大きいのかなと感じています。

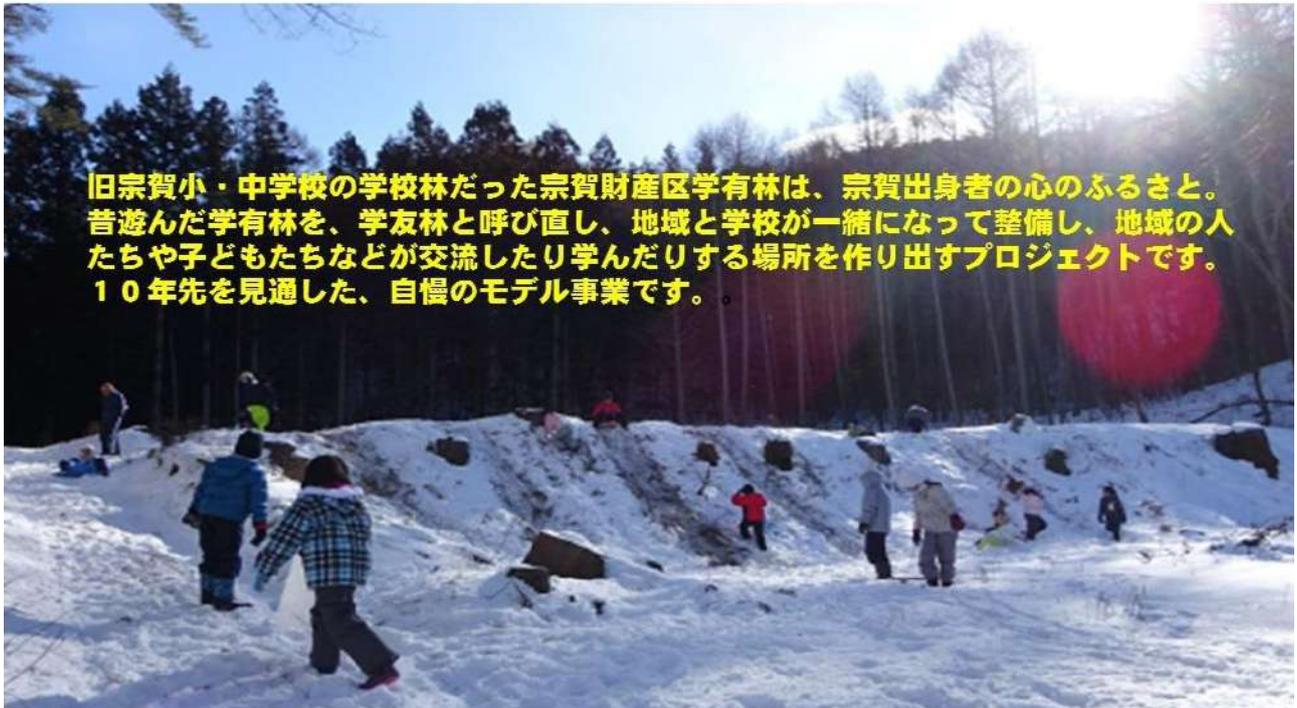
まだまだ、「どんぐりプロジェクト♪」の活動は続きます。来年度も、宗賀小学校のコミュニティ・スクールの活動を、地域の方に紹介していくよう努めていきたいと思っています。



6学年通信

「どんぐりプロジェクト♪」

～学友林を復活させよう～ 宗賀小学校コミュニティ・スクール



旧宗賀小・中学校の学校林だった宗賀財産区学有林は、宗賀出身者の心のふるさと。昔遊んだ学有林を、学友林と呼び直し、地域と学校が一緒になって整備し、地域の人たちや子どもたちなどが交流したり学んだりする場所を作り出すプロジェクトです。10年先を見通した、自慢のモデル事業です。



思い思いに遊ぶ



薪割り体験



きのこ狩り



森の健康診断

【どんぐりの森で、温かく見守られ、感謝の心、ふるさとを愛する心が育ちます】

どんぐりプロジェクト♪の活動の広がり ～山から川あそびへ



どんぐりプロジェクト♪や学校支援ボランティアのよさを体感した職員は、「子どもたちに川遊びを通して自然の中で遊ぶ楽しさを味わわせたい」と願いを持ち、安全面等の支援をどんぐりプロジェクト♪メンバーの方々が力強く応えてくださいました。

【見事なフォーメーションで子どもたちを見守るどんぐりプロジェクト♪メンバー】



【川遊びを満喫する子どもたち】



【川遊びの計画・子どもの話し合いに参加】

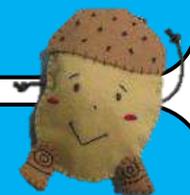
【教師の声】

- どんぐりの森へ行くと子どもたちは、自然に自由に遊び出す。ふだんおとなしい子どもが、おしりが汚れていることも忘れて遊んでいた。遊びは遊具なんていらなかった。子どもたちは山の坂を登ることだけで楽しんでいた。また上手な子どもの登り方をみて、足の運び方を学んでいた。豊かな自然の中で活動することで、遊びの原点を学ぶことができた。

【成果と課題】

○山あり川あり豊かな自然や人に恵まれた地域なのでCS活動も、地域の人が気軽に学校行事等に参加するようになり、専門的なボランティア活動をしてくれる人、「何でも屋」の学習支援等、楽しみながら子ども達と接するようになってきている。これからも、宗賀小学校の持つ歴史、文化、環境等の特性を生かした取り組みを、「主人公である小学生を核」に幅広い世代で考えていきたい。

▲活動の素晴らしさを地域やPTAに積極的に発信して、地域の宝としての意識を高めてさらなる輪を広げていきたい。地区文化祭・区長会等で、コミスク、どんぐりの活動発表をしたり、関わる多くの人それぞれがそれぞれの立場で発信したりしていきたい。



地域とつながる宗賀小学校コミュニティ・スクール

【第1回学校運営協議会の取組み】 4月10日(月)

☆宗賀小学校の取組みについて

☆学校経営方針・運営計画のグランドデザインの承認

<熟議>「この学校の子どもがどのように育てほしいか」

「委員それぞれの役職・立場からできそうなこと・できること」



【第2回学校運営協議会(西部中学校区)】 7月25日(火)

☆各校の1学期運営状況についての報告

本校:「ふるさと学習すがの」「どんぐりプロジェクト♪」について

<熟議>「小・中一貫した9年間で育てたい子どもの姿」



【どんぐりプロジェクト♪】

【第3回学校運営協議会の取組み】 12月22日(金)

☆本年度の学校運営状況と課題について(校長)

児童質問紙から、本校児童は自尊感情が高く、自分にはよいところがあると答える子が多い。地域の行事へ積極的に参加もみられる。コミュニティ・スクールの成果であろう。

<熟議>「学校の課題について」

・学校行事について ・運動会 ・ふるさと学習すがの ・どんぐりプロジェクト♪

ア) 学校評価に対するご意見

児童の自尊感情が高いとの報告を聞くとありがたい。「ふるさと学習すがの」や「どんぐりプロジェクト♪」など地域の優れた人材が学校に豊かに関わっている。PTA総会で説明したり、ボランティアの会員へ情報提供をしたりしていきたい。

イ) 今後の学校経営や運営について

小規模校化が予想される中で、学校環境を整えていく難しさが浮かび上がっている。校庭等の除草など、児童、職員やPTAだけでは限界にある。地域の中で自主的に行っている方がおられるが、今まで以上に地域体育協会や各利用団体に協力依頼をしていきたい。



【第4回学校運営協議会の取組み】 2月7日(水)(予定)

<熟議>「今年度のまとめと来年度に向けて」

○児童数の減少に伴う学校運営について ○施設環境の整備について ○どんぐりプロジェクト♪

【学校運営協議会の成果と課題】

○コミュニティ・スクールの理念やあり方が理解・共有されてきて、勇気を持って学校を支援できるようになってきた。「どんぐりプロジェクト♪」がいよいよ軌道に乗ってきた。地域の活性化を担う大きな事業なので、学校運営協議会としても応援していきたい。

▲小規模校化しつつある学校の現状を考えると、校庭の草刈りなど学校が困っているところをどんどんと地域に発信していくとよい。



学校運営協議会長

丸山 保 さん

学校の負担にならないように支援をしていくことが大事。学校から、積極的にSOSを発信してほしい。

地域教育協議会 <学校支援活動・地域貢献活動>の取組み



【学習支援部「洗馬探検」】



【キャリア教育支援部「ふどう栽培」】



【特別支援教育支援部】



【読書活動支援部】



【ふるさと学習すがの】



【宗賀の日】

☆地域貢献「どんぐりプロジェクト♪」への参加

宗賀出身者の心のふるさとである「学有林」。昔遊んだ学有林を「地域の憩いの場、交流の場にしたい」との願いを受けて、宗賀小学校の子どもたちがプロジェクトへ参加……。夢が膨らんでいきます！

<とっておきの話> ～大事にされるほくたち・私たち～

「宗賀の日」で使う薪割りをしました。どんぐりプロジェクトリーダーさんをはじめ、大勢の人が来てくださり、木を切ったり、道具を使って薪を割ったりしました。上手にできて、楽しかったです。

その中に、市長さんもいらして、びっくりしました。市長さんは「宗賀の日」にも、わざわざ私たちのカレーを食べにきてくれました。「とてもおいしいよ」と笑顔で言われて、なんだかとてもうれしかったです。（4年生女子）

*宗賀の日：お世話になっている地域の方々を招いて、子どもたちがカレーを作り感謝の気持ちを伝える全校行事）



【地域教育協議会の成果と課題】

○昨年以上に支援ボランティアが活発になってきている。ボランティアの方も学校に対する垣根が低くなり、「子どもと会うのが楽しみだ」と自然と支援ができるようになってきている。

▲「どんぐりプロジェクト♪」や「ふるさと学習すがの」はとてもよい事業なので、地域やPTAに積極的に発信して、輪を広げていきたい。



地域教育協議会長

佐原府治男さん

学校支援が様々な形となって、地域にフィードバックされ始めました。これこそ私達が目指す方向です。

地域とつながる**宗智小**コミュニティ・スクール

「学校を地域の拠点に」を願い、ボランティアの方が自由に使える
すがのルームの設置

H28 コミュニティ・スクール始動！（白桦は今年初めての活動）



松本大学の学生さんが
スポーツテストお手伝い



ボランティアお願いの会



学校環境整備支援部：畑のマルチ敷き



キャリア教育支援部
ぶどう栽培



読書支援部



動き出した特別支援教育支援部

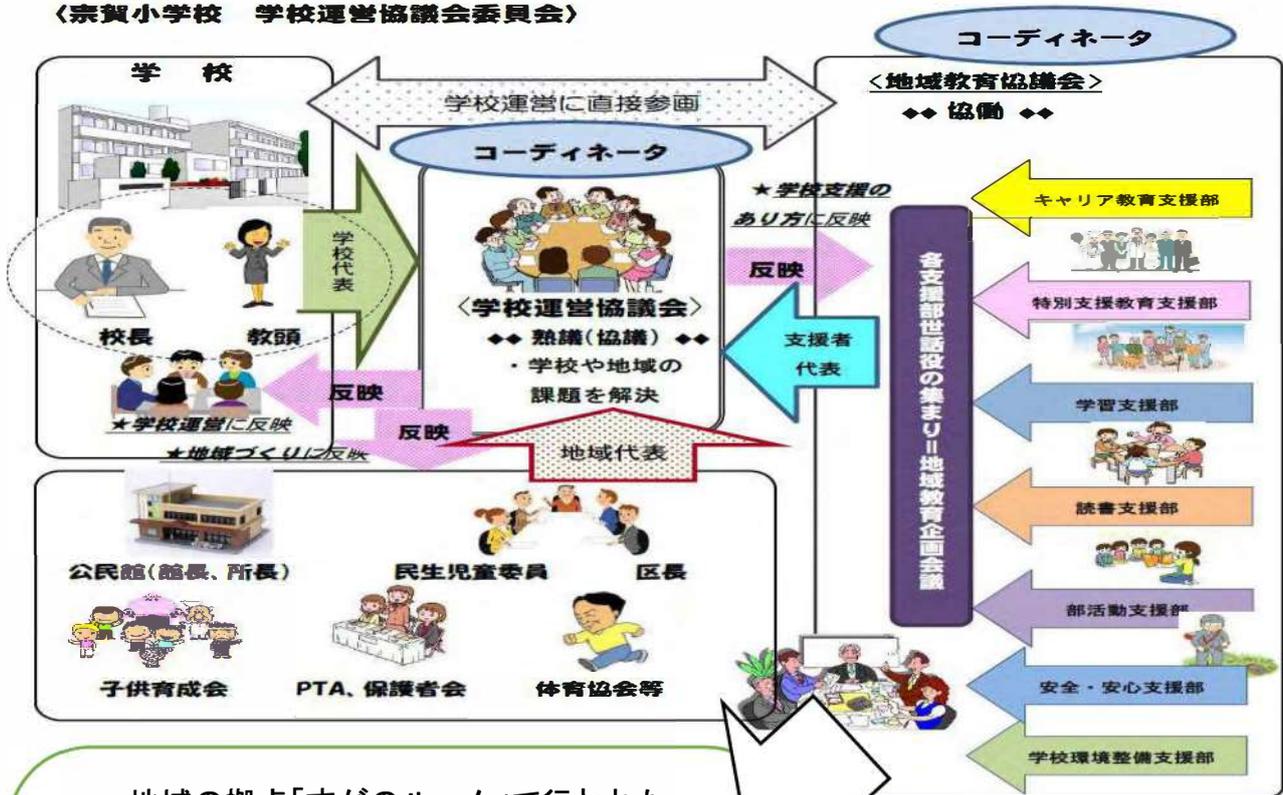


学習支援部～しめ縄作り～



全校でカレーを作ってお世話になっている方に感謝を
伝える宗賀の日

〈宗賀小学校 学校運営協議会委員会〉



地域の拠点「すがのルーム」で行われた
地域教育協議会 企画推進委員会

「かつての学有林で子ども達を遊ばせたい」
→「どんぐりプロジェクト」始動!

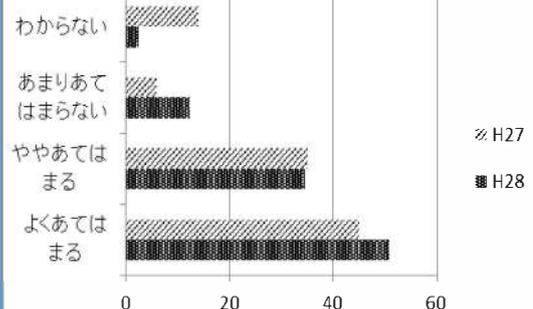
「安全・安心支援部が足りない！」
→「民生児童委員が協力しましょう」

「校庭の草が大変で職員と子どもで抜いても追いつかない！」
→「体育協会でも対応を考えます」

今年度の成果

- コミュニティ・スクールが始まり、各支援部ができたことでそれぞれの支援部が既存の活動を活かしながらも自主的な活動が増えてきた。(学校環境支援部・特別支援教育支援部・どんぐりプロジェクト)
- ふるさと学習「すがの」の時間を年3回実施することができ、本格的に進められた。
- 学校と地域とのつながりを多方面から検討し、安全・安心支援部が不足している問題や、学校環境の問題等をみんなで考えることができた。
- 保護者アンケートからも地域とのつながりを感じている保護者が多くなっているという結果が出て、学校と地域との連携が深まってきた。

保護者アンケート「学校は地域とのつながりを大切にしている」



洗馬っ子スクール

(洗馬小学校コミュニティ・スクール)

《地域とともにある、みんなの学校》をめざし活動しています

～今年度の活動の様子より～

雛飾りやこいのぼりの展示・片付け



昔から伝わる季節の行事を子どもたちとともに大切にしていきたいです！



読み聞かせボランティア



お互いに楽しみなひとときです

遠足の安全見守り



1年生が桔梗ヶ原まで歩けたのは、見守りのおかげ

妙義山への登山(2年生)



急な山道も、ボランティアさんと一緒に登れたよ！

ささら踊りの指導



運動会で一緒に踊り、伝統をつなぎます

クラブ活動の講師(地域の特色や歴史を知ってもらう機会として)



《地域探検クラブ》
洗馬焼きについて説明や和兵衛窯の見学



《郷土料理クラブ》
おやき、わらび餅、五平餅などを作って味わい大満足



《茶道クラブ》
お茶のたて方や基本の所作を学ぶ機会に

持久走記録会の見守り



ボランティアの方々の見守りで、安全に走れます

ピアノコンサート(年2回)



10年前に修復された91歳のピアノを奏でます



楽しいトークとともに、アンサンブルセバスチャンのお二人による素敵な音色が響き渡りました。

金管バンド指導



アドバイスをいただき上達しました

洗馬小コミスク festa 2025



洗馬地区文化祭での展示発表



金管バンドのステージ発表で地域を盛り上げよう!

夏休み宿題応援隊



分からないこともすぐに聞けてやる気が出るよ!

校地内の環境整備



子どもたちが過ごしやすいように環境整備



洗馬っ子スクールだより編集



年2回の発行に向けた編集会議

コミュニティ・スクールの活動について、理解と協力を得られるよう『洗馬っ子スクールだより』の内容も工夫しています。さらに、活動内容が、マンネリ化せずレベルアップしたものになるよう、協力者を増やす工夫も考えていく必要性を感じています。

今後も、子どもたちとボランティアのみなさんがつながることで、双方が元気になり、地域とともにあるみんなの学校となるよう歩んでいきたいと思ひます。

令和7年度 塩尻市立洗馬小学校洗馬っ子スクール活動計画

名	称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	キャリア教育 支援部	4日 入学式 15日 ①学運協①地教協 ボランティア紹介式	31日 運動会 (・ささら点検) ・運動会 ささら踊り練習 ・妙義山登山 案内	26日 地域公開参観日 13日・27日 クラブ活動	4日 クラブ活動 24日 小中合同研修会 合同学運協	29日 クラブ活動 29日 クラブ活動 全4回まとめの会		18・19日 festa2025 24日 音楽会 ・洗馬地区 文化祭参加		11日 ③学運協		1年生 お雛様飾り	4日 ④学運協 ②地教協 17日 卒業式 4日 まとめ 来年度の計画
2	学習支援部	・シニタイ栽培培活動 補助	・習字指導 (3年)	・習字指導 (3年)	・夏休み宿題応援隊 (洗馬公民館)	・生活科遠足付添 い(1年)	・洗馬地区 文化祭参加		・習字指導 (書き初め)				4日 まとめ 来年度の計画
3	特別支援部	・土づくり他	特別支援学級授業 参観 ・畑種まき	・畑の世話	・畑の世話	・畑の収穫	・畑の収穫						4日 まとめ 来年度の計画
4	環境支援部	【校庭周辺】 洗馬スポ協 野球少年団 草刈ボランティア	【校庭周辺】 24日(土) PTA作業	【校庭周辺】 野球少年団	【校庭周辺】 野球少年団	【校庭周辺】 野球少年団	【校庭周辺】 PTA作業	【校庭周辺】 PTA作業	【校庭周辺】 PTA作業	【校庭周辺】 PTA作業	【校庭周辺】 PTA作業	【校庭周辺】 PTA作業	4日 まとめ 来年度の計画
5	安全支援部	7日・8日 児童集団登校 下校指導	【校舎周辺】 中庭含む 24日(土) PTA作業	【校舎周辺】 中庭含む 職員作業	【校舎周辺】 中庭含む 職員作業	【校舎周辺】 中庭含む 職員作業	【校舎周辺】 中庭含む	【校舎周辺】 中庭含む	【校舎周辺】 中庭含む	【校舎周辺】 中庭含む	【校舎周辺】 中庭含む	【校舎周辺】 中庭含む	4日 まとめ 来年度の計画
6	読み聞かせ支援部	・登下校の見守り	部員顔合わせ	・読書週間 ・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	夏休み	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	・読み聞かせ 8:20~8:35 木曜日	4日 まとめ 来年度の計画
7	広報支援部	HP更新	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより(18号)洗馬 地区全戸配布	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより編集会議	HP更新 ・洗馬っ子スクール だより(19号)発行	4日 まとめ 来年度の計画
8	ピアノ支援部	ピアノ利用委員会 と打ち合わせ	21日 ピアノコンサート	ピアノコンサート					15日 ピアノコンサート			ピアノ週間 (24日~27日)	

洗馬っ子スクール (洗馬小学校コミュニティ・スクール)

「学校支援ボランティアの皆さん」 子どもたちのために 活動充実の1年間!

..... < ボランティア活動の紹介「一例です」 >

クラブ活動の講師として たくさんの方々にご協力をいただきました

地域探検クラブ



釜井庵など洗馬地区の名所を
巡りながら学びました。

郷土料理クラブ



キムタクご飯、レタススープ、五平
餅など郷土料理を作りました。

茶道クラブ



お茶のたて方の基本をわかり
やすく教えていただきました。

金管バンド指導



朝や放課後の練習を通して、上手
に演奏できるようになりました。

遠足の安全見守り



1年生が安全に目的地に着ける
ように、見守っていただきました。

朝の読み聞かせ



水曜日の朝の時間に各クラスで
読み聞かせを実施しました。

雑飾りの準備・片付け



雑飾りの片付けを2年生と一緒に
行いました。

ピアノコンサート(6月・11月)



アンサンブルセバスチャンの
ピアノとバイオリンの素晴らしい
演奏が響き渡りました。



90歳のピアノを囲んで素晴らしい
コンサートになりました。

持久走記録会の見守り



ボランティアの方々に見守っていただ
き、安全に走ることができました。

ささら踊りの指導



4年生へ踊りとささらの使い方
のご指導をしていただきました。

妙義山への登山



キャリア教育支援部の方に引率し
ていただき2年生で実施しました。

「洗馬小コミスク festa2024」



洗馬地区文化祭の展示発表

洗馬っ子スクールだより編集



年2回の発行に向けた編集会議

校地内の草木の整備



草刈りや木の剪定を定期的に行う

本年度は、継続的な取り組みとして、地域探検、郷土料理、茶道の3つのクラブ活動への協力や朝の読み聞かせボランティア、金管バンド指導などの活動を行うことができました。また、妙義山への登山、運動会で行っているささら踊り、ピアノコンサートなど体験的な活動の充実を図ることができました。今後も、地域に向けて発行している洗馬っ子スクールだよりを活用しながら、地域との繋がりをより一層大切にし、充実した取り組みができるように努めていきたいです。

洗馬っ子スクール (洗馬小学校コミュニティ・スクール)

「学校支援ボランティアの皆さん」
コロナ禍を越えて 活動充実の1年間!

..... < ボランティア活動の紹介「一例です」 >

クラブ活動へ講師として多くの方のご協力をいただきました

焼き物クラブ



お皿や筒状のコップ類をつくりました。

茶道クラブ



お茶の点て方の基本を学びました。

郷土料理クラブ



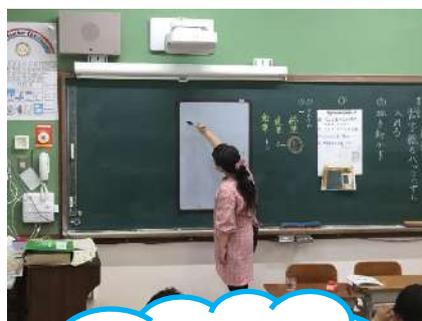
レタススープ、五平餅、おやきなどをつくりました。

朝の読み聞かせ



金曜日の朝の時間に各クラスで実施しました。

書写指導



3年生の毛筆書写の指導をしていただきました。

金管バンド指導



朝や放課後の練習で、上手に吹けるようになりました。

ピアノコンサート（年2回）



6月と11月の2回実施しました。
89歳のピアノを囲んで素晴らしい
コンサートになりました。



アンサンブルセバスチャンの
素晴らしい演奏が響き渡り
ました。

洗馬っ子スクールだより編集



年2回の発行に向けて
広報支援部会で編集
等を行いました。

ささら踊りの指導



ご指導のおかげで、運動会
では上手に踊ることがで
きました。

妙義山への登山



キャリア教育支援部の方に
引率していただき4年生
が実施しました。

持久走大会の見守り



ボランティアの方々に見守っ
ていただき、安全に走ることが
できました。

校地内外の整備



分担場所を年間を通して実施

学校運営協議会での熟議



グループでの話し合い

「洗馬小コミスク festa 2023」



洗馬地区文化祭で展示発表

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更されたことにより、クラブ活動への協力・書写指導など、新たなボランティア活動も取り入れながら、工夫して多くの活動を行い、学校の環境維持や児童の安全、体験的な活動の充実を図ることができました。来年度も、洗馬っ子スクールだより等を活用してボランティア活動の拡充を進めていきたいです。また、学校と地域で意見交換をしながら、地域との繋がりを大切に持続可能な取組ができるように努めていきたいです。

洗馬っ子スクール (洗馬小学校コミュニティ・スクール)

**「学校支援ボランティアの皆さん」
コロナに負けないで頑張っています！**

..... < ボランティア活動の紹介「一例です」 >

クラブ活動に協力

焼き物クラブ



素敵なお皿やカップが
できました。

地域探検クラブ



お宝が沢山あり
驚きました。

写真クラブ



写真を見ながら楽しさを
教えてもらいました。

金管バンドの指導



朝の練習、上手に吹ける
ようになりました。

遠足の付添い



ルールを守り元気に
歩きました。

朝の読み聞かせ



金曜日の朝の時間
楽しく聞いています。

ピアノコンサート（年2回）

洗馬っ子スクールだより編集



9組の児童と家族の演奏は練習の成果がしっかり出ていました。



アンサンブルセバスチヤンの素晴らしい演奏をうっとりと言いました。



年2回の編集と発行をがんばりました。

持久走大会の見守り

校地内の草刈り

ささら踊りの指導



安全面での見守りと応援で、子どもたちはより一層頑張りました。



分担箇所と期間を決めて年間を通して行いました。



運動会では、みんなとても上手に踊りました。

学校運営協議会での熟議

「洗馬小コミスク festa 2022」



学校での熟議



中学校区で他校委員と熟議



洗馬地区文化祭で展示発表

コロナ禍ではありましたが、新たなボランティア活動も取り入れながら工夫して多くの活動を行い、学校の環境維持や児童の安全、体験的な活動の充実を図ることができました。先が見通せない中ではありますが、来年度も、コミュニティ・スクールだより等を活用してボランティアの拡充を進め、学校と地域で意見交換をしながら、子どもたちとボランティアのみなさん双方の安全を守り、地域との繋がりが途絶えないようにさらなる工夫に努めていきたいです。

洗馬っ子スクール (洗馬小学校コミュニティ・スクール)

**「学校支援ボランティアの皆さん」
コロナに負けないで頑張っています！**

..... < ボランティア活動の紹介「一例です」 >

洗馬公民館の「夏休み講座」に協力

宿題応援隊



夏休みの宿題
しっかりできました！

洗馬小お宝見学会



お宝が沢山あり
驚きました！

星空観察教室



土星の輪や木星の
縞模様が見えたよ！

金管バンドの指導



朝の練習、上手に吹ける
ようになりました！

遠足の付添い



ルールを守り元気に
歩きました！

朝の読み聞かせ



金曜日の朝の時間
楽しく聞いています！

ピアノコンサート(年2回)

洗馬っ子スクールだより編集



15組の児童と家族の演奏は練習の成果がしっかり出ていました!



酒井さんのトークとアンサンブルセバスチヤンの演奏はいつも素敵です!



年2回の編集と発行をがんばりました!

登下校の見守り

校地内の草刈り

ささら踊りの指導



毎朝の見守りは、子どもたちとのコミュニケーションにもなっています。



分担箇所と期間を決めて年間を通して行いました。



運動会では、みんなとても上手に踊りました!

地域の力を結集して校庭の除草

「洗馬小コミスク festa 2021」



トラクターによる草おこし



地区役員さん・体協の皆さんによる草拾い



支所・ふれあいセンターへパネル掲示

コロナ禍で実施が難しい活動もありましたが、工夫して多くの活動を行い、学校の環境維持や児童の安全、体験的な活動の充実を図ることができました。先が見通せない中ではありますが、来年度も、コミュニティ・スクールだより等を活用してボランティアの拡充を進め、学校と地域で意見交換をしながら、子どもたちとボランティアのみなさん双方の安全を守り、地域との繋がりが途絶えないようにさらなる工夫に努めていきたいです。

洗馬っ子スクール (洗馬小学校コミュニティ・スクール)

本校では、これまで地域の方に支えていただきながら、様々な活動に取り組んできました。それだけに、令和2年度一学期、コロナ禍にあっても、これまで行ってきた活動を工夫して継続できないか検討を重ねました。しかし、休校の影響や感染拡大防止のため外部から人を招くということには難しさがあり、ほぼすべての部が外部講師の皆様で成り立っていたクラブ活動は、年間を通して中止という苦渋の決断をしました。

そんな中でも、地域の皆様から「できることは協力したい」という言葉をいただき、1学期は、校地内の環境整備を行っていただきました。そして、2学期からは、感染対策を工夫しながら、多くの活動を行うことができました。

校地内の環境整備 ～環境支援部～

コロナ禍でなかなか集まった作業は難しいため、実施期間と分担を決め、その中で都合のよいときに実施していただくようにしました。自然豊かな反面、校地内の除草がたいへんな本校。休校で子どもたちの手を借りることもできない中、本当に助かりました。



読み聞かせ ～読み聞かせ支援部～

10月より、読み聞かせを始めました。活動再開に向け、対策について話し合いました。「児童は机のまま」「マスクやフェイスシールド着用」「健康チェックカードの使用」などの感染対策を講じました。その中で、遠くでも見えるように大型絵本を用意したり文章だけでも楽しめるよう選本したりと、様々な工夫をしていただきました。お陰で、子どもたちも十分に楽しめました。

大型絵本登場



フェイスシールド着用



座席は間隔をあけて

ピアノコンサート ～ピアノ支援部～

本校の特色の一つである86歳の修復ピアノを活用した「ピアノコンサート」ですが、1学期は残念ながら中止となりました。しかし、何とか開催したいという思いから、地域への参加募集を行わず、児童とその保護者、ピアノ支援部でピアニストの木内栄さんとヴァイオリニストの酒井和彦さんに参加者を限定して行いました。6年生の参加児童は「小学校最後の年だったけれど、自分の好きな曲を弾くことができよかった」と感想を寄せました。6年生にとっては最後の発表。その場をつくることができ本当に良かったです。



本物に触れる体験



小学校最後のコンサート



親子でアンサンブル



その他の活動紹介



広報「洗馬っ子スクールだより」の編集



レタス栽培の指導



生活科遠足への付添



雛人形の展示や片付



登下校の見守り



金管バンドの指導



夏休み宿題応援隊



シイタケ栽培の指導

コロナ禍で中止を余儀なくされたり規模を縮小したりしましたが、多くの活動を行うことができました。保護者の方からも「コロナ禍の中、工夫して活動に取り組んでいる姿がある」という評価や本校のよさとして多くの方に「地域とのつながり」をあげていただきました。子どもたちとボランティアのみなさん双方の安全を守りながら、地域との繋がりが途絶えないよう、さらなる工夫に努めていきたいです。

85歳の修復グランドピアノ

洗馬っ子スクール（洗馬小学校コミュニティ・スクール）



◎コミュニティ・スクール活動のシンボルとして

洗馬小学校では、85年前の昭和9年、地元の方から寄贈されたグランドピアノを、4年前に地域の皆様の寄付金によって修復し、地域と学校を結ぶ架け橋として取り組んでいます。このピアノは学校の子どもたち・職員・地域の人たちも一緒に、いつでも使えるようにコミスクの活動拠点（洗馬っ子ルーム）に置き、地域と学校が一体となって活動していくシンボルともなっています。

《 つながい ピアノ支援部によるピアノコンサート 》

6月15日と11月9日の2回、土曜日の午前中に「ピアノコンサート」を行いました。子どもたちによる演奏、ピアノ支援部でピアニストの木内栄さんとバイオリニストの酒井和彦さんのお話と演奏、木内さんの伴奏による二村昭美さんの語りと参加者全員で歌を歌うなど、優しい時間を過ごすことができます。参加された皆さんからは、「子どもが主役になれる場がありありがたい」「また来たい」などの感想をいただきました。



《 広まり 児童によるミニピアノコンサート 》

休み時間に洗馬っ子ルームで行っています。昨年度は合計14回行いました。今年度は6月から7月にかけて5回と2月に行いました。1年生から6年生まで、多くの子どもたちがピアノを弾きます。入学したばかりの1年生が発表したり授業で習ったリコーダーと合奏したりといろいろな形で行っています。6年生は最後のコンサートで、全員が交代でピアノを弾いて卒業していきます。洗馬小学校での思い出、そして後輩へと引き継がれる、すばらしい伝統になりつつあります。





《 深める 130周年記念音楽会 》

今年度は洗馬小学校開校130周年でした。10月25日(金)には記念式典と記念音楽会のために、修復ピアノを体育館に移動しました。音楽会では30年前に児童と職員が作った『組曲 ふるさと 洗馬の四季』を、修復ピアノに合わせ6年生を中心に、地域の皆さん、保護者の皆さん、全校児童・職員で歌いました。体育館中にきれいな歌声とピアノの音色が響き、素晴らしい記念音楽会になりました。来ていただいた皆さんにも大変喜んでいただきました。



←この歌の制作に携わった山田先生のご指導



洗馬の郷 ピアノ音色に 皆集う

【その他の支援部の紹介】 ピアノ支援部を含め8つの支援部があり、活動しています。

広報支援部

年2回『洗馬っ子スクールだより』という広報紙を発行しています。洗馬地区全戸に配布します。



キャリア教育支援部



焼き物・詩吟・郷土料理・絵手紙・囲碁・茶道・地区探検・ゲートボール・将棋・バドミントン・織物・こまけん玉

今年度は12のクラブの講師をしていただいています。また、運動会で踊る「ささら踊り」の講師もしていただきました。

84歳の修復グランドピアノ

洗馬小学校コミュニティ・スクール



◎コミュニティ・スクール活動のシンボルとして

洗馬小学校では、84年前の昭和9年、地元の方から寄贈されたグランドピアノを、3年前に地域の皆様の寄付金によって修復し、地域と学校を結ぶ架け橋として取り組んでいます。このピアノは学校の子どもたち・職員・地域の人たちも一緒に、いつでも使えるようにコミスクの活動拠点（洗馬っ子ルーム）に置き、地域と学校が一体となって活動していくシンボルともなっています。

◎地域への感謝と恩返し

《ピアノ支援部によるピアノコンサート》



6月16日と11月17日の2回、土曜日の午前中に「ピアノコンサート」を行いました。子どもたちによる演奏、ピアノ支援部でピアニストの木内栄さんとバイオリニストの酒井和彦さんのお話と演奏、木内さんの伴奏による二村昭美さんの語りと参加者全員で歌を歌うなど、優しい時間を過ごすことができました。参加された皆さんからは、「子どもの成長を感じた」「子どもが主役になれる場がありありがたい」「また来たい」などの感想をいただきました。

《児童によるミニピアノコンサート》



今年度は7月から2月にかけて、合計12回の「ミニコンサート」を行いました。1年生から6年生まで、のべ約100人の子どもたちがピアノを弾きました。6年生は、最後のコンサートで、全員が交代でピアノを弾いて卒業していきます。洗馬小学校での思い出、そして後輩へと引き継がれる、すばらしい伝統になりつつあります。

《体育館に移動しての音楽会やコンサート》



9月のPTA講演会と10月の校内音楽会のために、いつもは洗馬っ子ルームにあるピアノを体育館へ移動しました。PTA講演会では、視覚に障害のあるピアニスト大月裕夫さんによるピアノコンサートを行い、10月の音楽会ではステージの上から各学年の演奏に加わりました。多くの保護者・地域の皆様にも来校していただき、美しい音色を聞いていただくことができました。大月さんの祖母様は洗馬の出身で、ピアノのことを覚えていらっしゃるというお話も聞くことができました。ピアノを通して、つながりが広がっています。

◎塩尻市コミュニティ・スクール研修会での発表

昨年7月28日に行われた市民公開講座「塩尻市コミュニティ・スクール研修会」で、本校のピアノについて発表させていただきました。

ピアノをシンボルとした特色あるコミスク活動として、多くの皆さんに知ってもらうことができました。

時代の流れで一度はその役目を終えたかに見えたグランドピアノが、地域の皆様の学校を思う気持ちとともによみがえり、その音色が地域と学校をひとつにしてくれています。



〔成果と課題〕

- 地域の方にとって、毎回素敵な音色が聴け、コンサートが楽しみ。コミスクの活動拠点（洗馬っ子ルーム）とシンボル（修復ピアノ）があるので、学校に来やすくなり、支援活動も楽しくなっている。
- 子どもたちにとって貴重な経験となり、自信がついている。また、地域や支援の人たちに挨拶ができるようになっている。
- ▲ピアノコンサートが、マンネリ化して飽きないように楽しく続けていくために、どう工夫していったらよいか。
- 他校との交流会や情報交換会を行い、活動のレベルアップを図っていきたい。

洗馬の郷 ピアノ音色に 皆集う



地域とともにのびゆく 洗馬っ子

〈洗馬小学校 コミュニティ・スクール（洗馬っ子スクール）〉

■学校運営協議会の取組み

- 4月 5日(水) 第1回学校運営協議会 小委員会 内容：新年度協議会役員の確認等
 11日(火) 第1回学校運営協議会 本会 内容：任命書の交付、学校経営方針等承認
 6月16日(金) 企画推進委員会 内容：各部の正副部長等が集まり連携、情報交換会を実施
 7月18日(火) 第2回学校運営協議会 小委員会
 内容：小・中合同学運協の協議内容検討、一貫して育てたい子どもの姿の検討
 22日(火) 第2回学校運営協議会 本会（塩尻西部中学校で開催）
 内容：「小・中一貫した9年間」で地域と学校で育てたい子どもの姿の熟議
 12月20日(月) 飯田市教頭会13名が、洗馬っ子スクールを視察
 塩尻市教育委員会からコミュニティ・スクールの概要を説明。学校から児童と洗馬っ子スクールとの関わりの具体を説明。協議会会長から洗馬っ子スクールの取組みを説明。その後、理科実験で学習支援に入るボランティアの授業の様子を参観。取組み内容に感心され、帰られました。
- 11月29日(水) 第3回学校運営協議会 小委員会
 内容：学校運営・学校評価の確認、課題の検討
- 12月 6日(水) 第3回学校運営協議会 本会 内容：
 ア) 学校評価に対するご意見
 あいさつと兄弟エンジョイは継続してほしい。児童の自己肯定感が高い現状を活かして、更に挑戦していく力を養っていきたい。保護者も児童も学校生活に対する満足度がとても高い。今後もきめ細かな指導を続けてほしい。
 イ) 今後の学校としての取組み
 今後も一人ひとりの児童に合った指導を継続していく。児童の良さをさらに伸ばし、ボランティアの皆様のお力もお借りしながら、達成感を味わえる活動に取り組み、挑戦する力等の育成を図っていききたい。
- 2月28日(水) 第4回学校運営協議会 小委員会（予定）
 内容：H29年度まとめ、H30年度学校運営の確認、協議内容検討
- 3月 8日(木) 第4回学校運営協議会 本会（予定）
 内容：H29年度学校運営のまとめの検討、H30年度学校運営の計画の検討、本年度の反省



「学校運営協議会兼地域教育協議会 大栗克実会長」からの「ひと言」

・子どもたちは“地域の宝、そして希望”
 コミスクで育てよう、明るく元気な子どもたち！！
 地域も学校も、ともに頑張りよう、楽しく元気に！



【学校運営協議会の成果と課題】

- （成果）熟議により、目指す子どもの姿の具体像などを共有することができた。
 ▲（課題）今後につながる意見がより出しやすくなるよう、熟議の内容を更に検討していく。

■地域教育協議会〈学校支援活動・地域貢献活動〉の取組み

4月11日(火) 第1回地域教育協議会 内容:メンバーの確認と活動計画の検討等
3月 8日(木) 第2回地域教育協議会 内容:活動の反省と次年度の課題の検討等

1 83歳のグランドピアノでのコンサート実施



初のピアノ支援部主催
土曜日コンサート・6月



東筑摩塩尻PTA研修会
アトラクション・8月



今年12回実施の洗馬っ子
ルームミニコンサート

《とっておきの話》11月18日(土) 洗馬っ子スクールピアノ支援部主催の「83歳のグランドピアノ」ピアノコンサートが洗馬っ子ルームで開かれました。地域の方々や子どもたちが大勢参加する中、出演中のセバスチャンさんから「会場にいる全員の皆さんで歌を歌いましょう。歌いたい曲はありますか。」という提案がありました。すると、会場からは「昨日1年生で焼き芋大会をしたので、たき火を歌いたい。」6年生からは「ふるさとを歌いたい。」のリクエストが。会場は、ピアノ&ヴァイオリンの音色とともに美しい歌声でいっぱいになりました。

2 ささら作りと運動会でのお披露目

キャリア教育支援部を中心にささらを43個制作。学校へ寄贈し、4年生が運動会で使用。



ささら渡し式・3月



ささら踊り講習会・5月



運動会・5月

3 全校でのレタス栽培



種蒔きの前の栽培説明会・4月



収穫・6月



地域へ販売・6月

【地域教育協議会の成果と課題】

○(成果) 子どもたちのニーズに合った様々な支援をすることができた。

▲(課題) 支援の継続がより充実して図られるよう部会内の協働、部会間の連携を続けていく。

地域とともにのびゆく洗馬っ子、洗馬小学校 コミュニティ・スクール（洗馬っ子スクール）

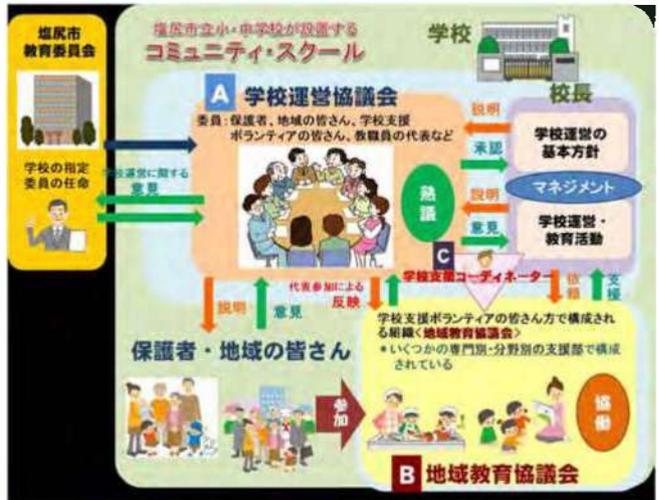
1 洗馬っ子スクールの仕組み

(1) 塩尻市のコミュニティ・スクールの仕組み

- 洗馬っ子スクールは、右図の塩尻市の仕組みに準じて構想されています。
- 学校運営協議会の人数は本年度28名です。

(2) 地域教育協議会組織

- ① キャリア教育支援部
 - ② 学習支援部
 - ③ 環境支援部
 - ④ 特別支援部
 - ⑤ 安全支援部
 - ⑥ 読み聞かせ支援部
 - ⑦ 広報支援部
 - ⑧ **ピアノ支援部**（本年度新たに発足）
- 本年度 65名



2 洗馬っ子スクールで目指す子ども

- 洗馬の自然、歴史・文化、地域に住む人々の生き方に学び、体験的・創造的に関わることを通して、洗馬の良さに気づき洗馬を愛する子どもを育てます。
- 心を育み自己の生き方を見つめ、自分の将来の夢に向けてたくましく生きる未来を担う子どもを育てます。

3 平成28年度のスケジュール（一部抜粋）

平成28年度塩尻市立洗馬小学校				洗馬っ子スクール グループ活動実施・予定一覧								
名 称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校運営協議会 地域教育協議会	①学運協 ①地教協 (18日)		①企画推進委員 会(2日)	②学運協 1学反省 懇親会(20日)			・中学校区 学運協(13日)		③学運協 ②地教協 (6日)			④学運協 ③地教協 (8日)
1 キャリア教育 支援部	14日(木) 2年生 お雛様片付け 雛のぼり飾りつけ ・5年生 レタス準備 JA洗 馬と連絡	・レタス栽培 定植 ・運動会 ささら踊り	・クラブ活動 (17日から) ・焼き物・洗馬探 検・餅土料理・絵手 紙・園芸・得根・茶 道・ゲートボール 太極拳・バドミント ン・織物			・クラブ活動 全5回まとめ の会(9日)	・洗馬地区 文化祭参加				14日(火) 1年生 お雛様飾り	8日(水) まとめ 来年度の計画
2 学習支援部	・シタケ ・習字	・花壇づくり ・畑おこし ・3年地域探検 付き添い ・裁縫補助 ・調理補助	・花壇づくり ・畑の世話 キャベツ	・ブル監視	・花壇づくり ・畑草取り ・夏休み宿題応 援隊(18, 19, 23, 24日) 洗馬公民館 ・夏の体験学習 (17日)(借大生)	・花壇づくり ・畑収穫 ・社会見学付き 添い(23日) ・体カテスト補助 ・器械運動補助	・花壇づくり ・畑収穫	・理科実験の 補助	・理科実験の 補助	・理科実験の 補助	・理科実験の 補助	8日(水) まとめ 来年度の計画
3 環境支援部	【校庭周辺】 草刈り 下旬 ボランティア5名に教 師連絡	【校庭周辺】 草刈り 15日(日) PTA作業	【校庭周辺】 草刈り 30日 野球少年団	【校庭周辺】 草刈り ボランティア	【校舎周辺 中庭含む】 職員作業	【校舎周辺 中庭含む】 職員作業	【校舎周辺 中庭含む】 職員作業	【校庭周辺】 PTA作業	雪かき ①体育館回り ②通学路点検	雪かき ①体育館回り ②通学路点検	雪かき ①体育館回り ②通学路点検	8日(水) まとめ 来年度の計画
4 特別支援部	メロン栽培 土づくり他	メロン栽培 上旬 定植 水当番	メロン栽培 下旬 交配	メロン栽培 20日収穫 27日収穫祭		木管養護学校 との連携 クラブ等	クラブ等	クラブ等	クラブ等	クラブ等	クラブ等	8日(水) まとめ 来年度の計画
5 安全支援部	7日～8日 児童集団登校 25日交通安全教 室 26日春の遠足		熊対策 登下校の見守り 17日(金) 地区懇談会参加	熊対策 登下校の見守 り		21日(水) 参観日 ①地震引き渡し 訓練 ②備蓄倉庫・ 体育館避難体 制確認	熊対策 ①放課後/ト ロール ②下校指導	熊対策 ①放課後/ト ロール ②下校指導 ・持久走大会 補助(2日)	雪かき ①体育館回り ②通学路点検(支 部長連絡) 【対応】 ・市へ要望 ・PTAで通学路確 保	雪かき ①体育館回り ②通学路点検(支 部長連絡) 【対応】 ・市へ要望 ・PTAで通学路確 保	雪かき ①体育館回り ②通学路点検(支 部長連絡) 【対応】 ・市へ要望 ・PTAで通学路確 保	8日(水) まとめ 来年度の計画
		・読み聞かせ ・読書週間	・読み聞かせ ・読書週間	・読み聞かせ 13:50～14:00	夏休み	・読み聞かせ 13:50～14:00	・読み聞かせ 13:50～14:00	・読み聞かせ 13:50～14:00	・読み聞かせ 8:20～8:35	・読み聞かせ 8:20～8:35	・読み聞かせ 8:20～8:35	8日(水)

4 本年度の主な取組み

(1) 82歳のグランドピアノ修復

《昭和9年に寄贈されたグランドピアノの修復に向けた、地域一体となったの取組み》



【ピアノ修復委員会の
発足(12月)熟議】



【ポスターの作成・掲示
募金活動(3月~)協働】

募金が目標
額に達し、ピ
アノ修復を
決定!

【ピアノ修復委員会
(5月)熟議】



【ピアノ見送りの会(6月)】



協議会に
ピアノ支
援部を創
設

【ピアノ完成(11月)】【修復ピアノお披露目会(11月)協働】【洗馬っ子ルームミニコンサート(12月)】

(2) 運動会でのささら踊りの復活と29年度運動会に向けてのささら作り

《地域の伝統的な踊りであるささら踊りを運動会で復活させ、地域の方と児童と一緒に踊ることができた。竹を使った自作のささらを用いてのささら踊りの実現を目指し、キャリア教育支援部が中心となり児童にささら作りを指導》



【ささら踊り・(5月)協働】



【キャリア教育支援部 竹作
りに向けて(8月)・熟議】



【講師の先生から3年生へ
作り方を伝授(11月)協働】



【3年生から全校へ伝授
(12月)協働】

(3) 特別支援学級でのメロン栽培

《JAの方を講師にメロン栽培を実施。その講師の先生の紹介で木曾養護学校と連携し陶芸教室を実施》



【ハウス作り(4月)】



【収穫(7月)】



【収穫祝い(7月)】



【陶芸教室(6・10月)】

5 成果

- 子どもたちの学びや体験活動が充実し、洗馬の良さに気づき洗馬を愛する子どもが育ってきています。
- ピアノの修復に向けて地域の皆様と心をつなぐ取り組みや、地域の方とささらと一緒に作ったり等することにより、洗馬地域の将来を考える子どもが育ってきています。
- 洗馬地域の皆様と共に活動することにより、自分の考えを他の人に説明するコミュニケーションの力が育まれてきています。

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール ～地域に学び、地域に返す！地域とともに育つ学校！～

1 学年 ふるさと学 ～地域の「もの」を味わう～

地域の特産品「ぶどう」の栽培、ジャムへの加工、廃材となるワインパミスを用いた製品開発を通して、他にも本山そば、洗馬焼き、平出遺跡等、地域の「もの」を再発見しその魅力を味わいました。自分たちが地域のためにできることを、具体的に考えていく生徒の姿が見られました。



2 学年 ふるさと学 ～地域の「ひと」を知り、魅力を伝えよう～

いきはたインタビューや職場体験学習等を通して、地域で活躍する「ひと」の、働くことに対する想いや願い、苦労ややりがいを知り、その「ひと」の魅力を保護者や仲間に発信しました。地域の「ひと」との学習を基に、自分の将来を考え、夢や希望をもつ生徒の姿が見られました。



3 学年 ふるさと学 ～地域の一員として、地域づくりに参画しよう～

これまで2年間取り組んできたふるさと学を振り返り、地域の魅力を再認識するとともに、地域の課題を洗い出し、地域の一員としてその解決方法を考えたり地域貢献活動に取り組んだりしました。友だちと共同して、課題の解決に向けて主体的に活動に取り組む生徒の姿が見られました。



地域の方々に支えられて 地域ボランティア

施設環境支援部の方々を中心に行われた「草刈り作業」。読書支援部の方々による「読み聞かせ」。学習支援部や学生にお手伝いいただいた「Sタイム」「夏休み学習支援」。家庭科のミシンの授業では、地域の有志の方々が生徒たちに使い方を教えてくれました。様々な形でのご協力に感謝です。



学習支援



ミシンの補助



草刈り

孫の手プロジェクト

本校の生徒たちは、これまで地域の皆様に様々に関わっていただきながら、コミュニティ・スクールを通して大きく育てていただきました。その生徒たちが、地域の皆様に恩返しをすることを願い、地域貢献活動「孫の手プロジェクト」を昨年度より始めました。この「孫の手プロジェクト」のネーミングは、孫世代の中学生たちが地域の力になるように、そして孫の手のように地域の困りごとのお手伝いができるように、という願いを込めて生徒が考えました。



孫の手プロジェクト運営会議



洗馬ふれあいフェス



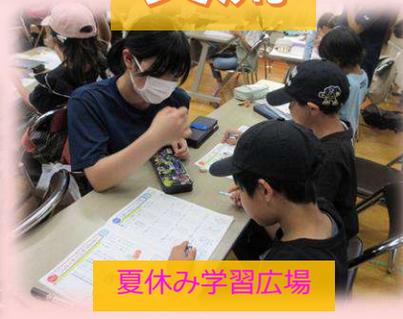
夕暮れ食堂

交流

広報



信濃毎日新聞様からの取材がありました



夏休み学習広場



ブドウ収穫

農業



洗馬元町機井泉神社お祭り

伝統



桔梗ヶ原神社しめ縄作業

来年度に向けて

今年度は、昨年度まで職員が担っていた運営の一部を生徒に委ねて活動しています。運営本部の生徒たちは、「孫の手」を増やすための工夫を考えたり、プロジェクトの更なる発展のために試行錯誤したりと、主体的に取り組む姿がたくさん見られます。今後、孫の手プロジェクトがさらに自走し、地域に根付いていくための仕組み作りを、生徒・地域・学校が知恵を出し合って考えていきたいと思ひます。

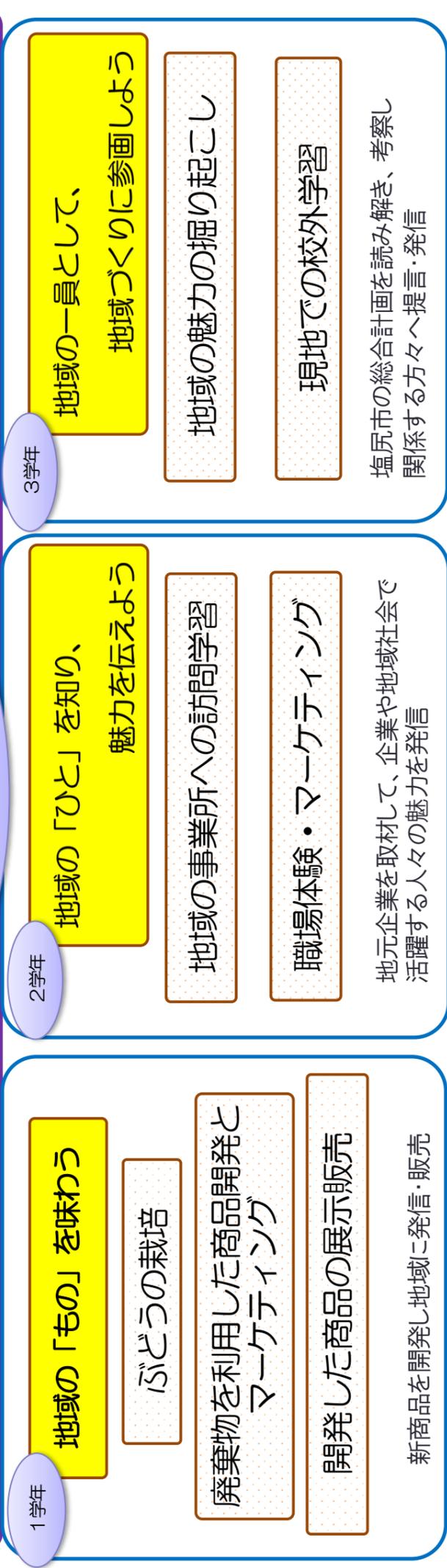


塩尻市立塩尻西部中学校 地域学校協働体制で育みたい資質・能力 & アクション・プラン 2025



持続可能な地域産業を創出する人材育成

探究型教育 & 人材育成プログラム 知るさと学



育みたい資質・能力〈領域〉

予測困難な時代 (VUCA)

個と学校のウェルビーイングを目指して

探究力を育む〈探究力〉

- 「好き」「楽しい」「なぜ」「なぜ」に出会う
- 自ら課題を見つげ追究する
- 感動体験を得る

創造力を育む〈創造力〉

- 価値をつくり出し主体的に取り組む
- 自分で考えて、自分で行動する
- 自らを表現する

コミュニケーション力を育む〈表現力〉

- 自分と相手を思いやる豊かな感受性
- 仲間と協働し納得解を導き出す
- 自分の考えを広め、深める

粘り強く取り組む〈継続力〉

- 困難や苦難を乗り越える
- 最後まであきらめずやり遂げる
- あらゆるケースを想定し、柔軟に対応する

情報を収集する〈情報処理能力〉

- ICTを適切に活用する
- 信ぴょう性を見極め取得する
- 情報を生かし論理的に考える

大切にしたいこと

「知るさと学習」では、「自ら課題を発見し、問いや仮説を立てながら、解決していく力(探究力)」「課題を自分ごととして捉え、意志を持って取り組む力(主体性)」「他者と協働し、価値を生み出す力(共創力)」を身につけることを目的としています。知るさと学での「コ・クリエーション(共創)」を通して、地域、企業、行政、学校が一体となって取り組んでいきます。

令和7年度 塩尻西部中学校 地域教育協議会年間活動計画 (令和7年4月1日)

名称	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会 研修会	入学式 /24第一回学運協 /24第一回地域教育 協議会			/24第二回学運協			/31CSフェスタ 家庭科授業支援16 日～11月11日地 域支援延べ14人参 加	家庭科授業支援11 月27日まで 11/14 13:35～JA塩尻/本 山そばの里/歴史資 料館/平出遺跡館長 /平出中野さん他支 援活動	/15第三回学運協		/26第四回学運協 /26第二回地域教育 協議会	
部会名称					夏ゼミ 初旬の3 ～4日間	第二回 9/8 Sタイ ム	放課後学習 オリジナルノート作 作ろう 家庭科授業支援	第三回11/10 Sタイ ム オリジナルノートを 作ろう			第四回 2/9 Sタイ ム	
1 学習 支援部 特別支援教育 支援部			第一回 6/17 Sタイ ム	読み聞かせ 7/9 朝 8:10～8:25					読み聞かせ 水曜 日の朝 8:10～8:25			
2 読書活動 支援部				葡萄学 14日笠掛 作業原さん二名		9/16葡萄収穫作業 今井道の駅加工所 へ葡萄搬入						
3 キャリア教育 支援部	二月末剪定 葡萄剪定	葡萄消毒作業 葡萄誘引作業										
4 安心安全 支援部 (見守り)			草刈り6月14日			PTA作業						
5 施設環境 支援部			6月14日 熊対策 通学路の草刈り地 域11人先生6人参 加			PTA作業 9/13 8時から校内 草刈り作業						
6 部活動 ・課外活動 支援部			通年部活動指導 体力づくり支援									
広報活動 ボランティア 募集	学校ホームページ で活動紹介 学校だより活用			24/25/30宗賀公 民夏ゼミ	25宗賀公民館夏ゼ ミ 洗馬公民館夏ゼミ		家庭科学習支援募 集 集宗賀地区 洗馬 地区吹奏楽フェスタ 参加					

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

～地域に聞き、地域と共にある学校創り～

1 学年 ふるさと学 ～ぶどう学～

ぶどうに関する学習を行い、校地にあるぶどうの栽培からジャムの加工、廃材となるワインパミスやぶどうのつるなどをSDGsの観点からも見直し、商品化を目指して取り組んでいます。



2 学年 ふるさと学 ～企業魅力化コーディネーター～

いきはたインタビューでは、市内10社の企業から「生き方」「はたらき方」について価値観を学びました。インタビューで学んだことをいかし職場体験学習を行い、地元企業の魅力について考えを深めました。



3 学年 ふるさと学～Chief Future Officer プログラム～

3学年は、生徒たち自身で第六次塩尻市総合計画を読み解いて、塩尻市の様々な課題に対して、これまでに学んできたことをもとに考察を深めました。コミスクフェスタ当日は百瀬塩尻市長をはじめ、赤羽教育長、塩尻市役所の部や課の方々、そしてこれまでにご協力いただいた企業の方々にもご来校いただき、これまでの学習をまとめた提案を発表しました。



ボランティア・地域の方々に支えられて



6月に行った草刈りボランティア作業。暑さの厳しい中、学校のために、敷地内や通学路の環境整備をしていただきました。



「Sタイム」「夏休み中の学習支援」でも、地域や学生ボランティアの方々に生徒の課題に寄り添ってご支援いただきました。



読書支援部の方々が、「読み聞かせ」を行いました。素敵な朗読に、生徒たちもお話にのめり込みました。

孫の手プロジェクト



宗賀公民館 なつやすみ学習広場
7月25・26・30日



イタヤ農園でのぶどうの収穫
8月25日

平出遺跡ローカルナイトピクニック 9月14・15日



原遊覧園での接客
10月5日



原遊覧園での冬準備作業

12月7日



ふれあいセンター洗馬 クリスマスコンサート準備

12月15・21日



宗賀公民館文化祭
10月21日



さつまいも掘り作業
11月5日

孫の手プロジェクトとは！？

本年度7月の校長講話で、塩尻市のCSは今年で9年目、中学3年生にとっては小学校1年生の時から9年間地域に支えられていることや、地域の皆さんも中学生の力を頼りにしていることが紹介されました。そして、全校生徒に「9年目の今年、地域の皆さんへ恩返しする年にできないだろうか？」という校長先生の問いかけから、地域貢献活動「孫の手プロジェクト」が誕生しました。地域からの依頼を受け、地域のために力を尽くしたい人、地域の方の喜ぶ顔に出会いたい孫世代の生徒たちが、自主的に参加し多くの方を笑顔にさせています。

来年度にむけて

本年度は、生徒自ら主体的に地域貢献するスタートの年となった。参加した生徒からは「やりがいがある」「また参加したい」「喜んでくれて良かった」…と肯定的な感想が多く、自己有用感を味わうことができている。まさにCSで願う、「子どもたちにつけたい資質・能力」に繋がっていると感じる。「地域と共にある学校」を目指しこれからも取り組んでいきたい。

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

～地域に開かれ、地域と共にある学校創り～

1 学年 ～ふるさとぶどう学～

1 学年では、ぶどうに関する学習を行い、校地にあるぶどうの栽培からジャムの加工、産業廃棄物となるワインパミス（ぶどうの搾りかす）やぶどうのつるなどをSDGs の観点から見直し、商品化を目指して取り組んでいます。2月2日（金）には無印良品で展示、販売活動を行いました。



ぶどう栽培



ジャムのラベル貼り



製品化に向けて

2 学年 ふるさと学 ～地域魅力化コーディネーター～

2 学年は、塩尻市内の企業の魅力を外部に伝えるために、地元企業取材して、企業の魅力をチームで探求し、求人記事・動画を作成しました。どのチームも企業の特徴や魅力を分かりやすくまとめ11月2日（木）のコミスクフェスタ 2023 で発表しました。



市内の企業の協力をいただき取材活動



2 学年発表の様子

3 学年 ふるさと学～Chief Future Officer プログラム～

3 学年は、生徒たち自身で第五次塩尻市総合計画を読み解いて、塩尻市の様々な課題に対して、これまでに学んできたことをもとに考察を深めました。コミスクフェスタ当日は百瀬塩尻市長をはじめ、赤羽教育長、塩尻市役所の部や課の方々、そしてこれまでにご協力いただいた企業の方々にもご来校いただき、これまでの学習をまとめた5つの提案を発表しました。



課題追究の様子



市役所へ案内状を



3 学年発表の様子

ボランティア・地域の方々に支えられて

4月に、ボランティアの方々と対面式を行い、学校に関わっていただくボランティアの方々を生徒に紹介しました。その後、第1回地域教育協議会・第1回学校運営協議会を開催し、今年度のコミュニティ・スクールがスタートしました。



6月に行った草刈りボランティア作業。暑さの厳しい中、学校のために、敷地内や通学路の環境整備をしていただきました。



『S タイム』では、学習支援ボランティアの方々に支援していただいております。S タイムとは「静かに取り組み」「進んで質問し」「すっきりするまで考え抜く」の頭文字から名づけられました。ボランティアの方々には、生徒の課題に寄り添ってご支援いただきました。



「夏休み中の学習支援」や「放課後学習」でも、地域や学生ボランティアの方々に支援していただいています。



12月、読書活動支援部の方々が、各学級で「読み聞かせ」を行いました。素敵な朗読に、生徒たちもお話ののめり込み、真剣に聞き入っている姿が印象的でした。



<成果と課題>

一昨年度から取り組んでいる「ふるさと学習」では、本年度、それぞれ学年の課題に応じたテーマのもと、段階的・系統的に取り組んできました。この活動では「自ら課題を発見し、問いや仮説を立てながら、解決していく力（探究力）」「課題を自分ごととして捉え、意志を持って取り組む力（主体性）」「他者と協働し、価値を生み出す力（共創力）」を身につけることを目的にしています。学校評価アンケートの「広がる地域連携（様々な人と関わるなど、地域とのつながりを意識した行動ができています）」の設問では、94%の生徒が肯定評価をしており、「ふるさと学などの他校では体験する事ができないような体験をすることができる」「ふるさと学で、人生で経験できるかどうか分からない貴重な体験ができる」という生徒の意見もありました。ふるさと学での「コ・クリエイション」（共創）を通じた学習活動は、地域や企業、学校が一体となって取り組むことができる本校の大きな財産です。

また、学校支援ボランティア、学生ボランティアの方々の支援により、環境整備や学習支援が定期的実施され、多様な生徒のニーズにも対応することができています。

<今後の方向>

本活動を学校単独で行うのではなく、地域・企業・行政とともに取り組むことで「ふるさと学習」の取組をより発展させ、より広がりのある、地域の人的資源を生かした「探究的な学び」となるよう推進していきたいと思えます。

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

～地域から学び、地域へと関わる～

「ふるさと学習」の取り組み

<「ふるさとぶどう学」> 本年度、1学年のぶどうに関する学習を「ふるさとぶどう学」と名付け、「塩尻のぶどうのファンを増やす」をテーマに、栽培だけでなく、新たな取り組みにも挑戦しています。



協力していただいている「コクリ！プロジェクト」の方とは、オンラインで学習の進め方について確認しています。

ときには、学校に来ていただいております。お話をお聞きするときもあります。



ぶどうの栽培について、原農園社長の原さんより教えていただいています。

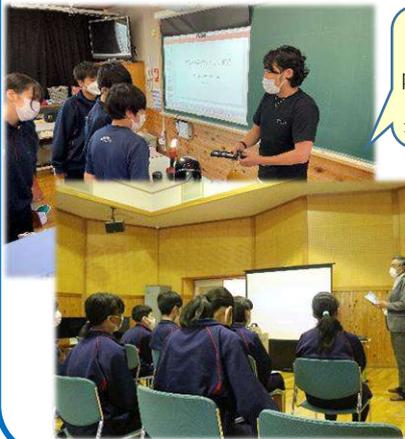
原さんからは、ぶどうに関わる仕事についても、さまざまなことを教えていただきました。



ぶどうの栽培や製品作りの際に出る廃棄物を有効活用した製品作りにも取り組んでいます。

地域の方々や市内の事業所の方々、行政の方々のご協力をいただきながら、製品作りを進めています。

2・3学年でも、それぞれ「塩尻の事業所のファンになる」「塩尻の文化のファンになる」をテーマに、総合的な学習の時間に、地域から学び、地域に発信する学習に取り組んでいます。



2学年では、漆器製作や建設業など、市内のさまざまな事業所の方をお招きして、グループごとにお話を聞きました。

3学年では、追究テーマ別のグループに分かれ、えんてらすや高ボッチ高原など、テーマに関わる場所に出向いて、携わっている方のお話を聞いたり現地の様子を見たりして追究しました。



地域の皆さんに支えられて



第1回学校運営協議会での話し合いの様子。今年度のコミュニティ・スクール活動のスタートです。

6月に行われた草刈りボランティア。敷地内や通学路の環境整備をしていただきました。

環境整備への支援



さまざまな形での学習支援



定期テスト前の自学の時間「Sタイム」では、生徒の質問に答えていただきました。



持ち授業時数の多い職員への学習支援。授業だけでなく、授業準備でも協力していただきました。

3年生を対象とした毎週水曜日の「放課後学習」。生徒の様子に応じて課題も準備していただきました。

夏休み中の学習支援には、学生ボランティアの方にも参加していただきました。



読み聞かせボランティア

読書旬間にあわせ、朝読書の時間にボランティアの皆さんに読み聞かせをしていただきました。



<成果と課題>

昨年度から取り組んでいる「ふるさと学習」を、本年度はより充実した取組とすることができました。特に、1学年の「ふるさとぶどう学」は、「コクリ！プロジェクト」の皆さんのご協力をはじめ、地域の方々、事業所の方々、行政の方々と、より大きな協力の広がりを得て、生徒のみなさんの探究的な学びがより深まった手応えを感じています。試行錯誤をしながら、この取組をより確かなものとし、さらに他の学年の取組へもつなげていきます。

<今後の方向>

地域に開かれ地域とともにある学校を基盤に、自分と地域との在り方や、自分の生き方を考えるための資質・能力の育成を図り、主体的に考え行動する生徒の姿をより確かなものとしたと思います。

「ふるさとぶどう学」の実践をもとに、「ふるさと学習」の取組をより発展させ、より広がりのある、地域の人的資源を生かした「探究的な学び」を、すべての学年で推進していきたいと思います。また、普段の学びや学校生活においても、地域の方々との交流を生かした取組を継続していきたいと考えています。

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

～地域から学び、地域へと関わる～

学校支援ボランティアの皆さんに支えられて



＜草刈りボランティア＞ 毎年、6月上旬に、校地周辺と学校付近の通学路の草刈り作業を行っていただきます。今年は、ボランティアの方に加えて、保護者の方、学校職員も加わって作業を行いました。



＜「桔梗ヶ原ぶどう学」(1学年総合的な学習の時間)＞ 1学年の生徒が、学校の敷地内にあるぶどう園のぶどうを、地域のぶどう農家の方から教えていただきながら育てています。



＜見守りボランティア(1学年乗鞍キャンプ)＞ 屋外での活動が多い行事に見守りボランティアとして同行していただき、生徒が安全に活動できるようサポートしていただきました。



＜放課後学習＞ 部活動のない毎週水曜日の放課後に、参加を希望した生徒を対象に、放課後の学習支援を行っていただきました。

＜読み聞かせ＞ ボランティアの皆さんに各クラスに入っていただいて読み聞かせをしていただきました。今年は感染症対策のため、人数の多い学級は広い教室を利用して行いました。



新たな取り組み「ふるさと学習」



＜「ふるさと学習」＞

10月より、全校をあげての総合的な学習の時間の取り組みとして、「ふるさと学習」を行いました。「地域からの学び」をテーマに、探究的な学びとICT機器の活用を取り入れ、1学年は「レタス」2学年は「街道探検」3学年は「塩尻市活性化」特別支援は「公共施設」を題材に、学習に取り組みました。

校外学習の日も設定し、それぞれ題材に関連した場所を訪問し、地域の方のお話をお聞きしました。

＜「ふるさと学習発表会」＞

学習の成果の発表会を「コミスクフェスタ」として開催しました。当日はICT機器を活用し、放送室と各教室をリモートで結んで行いました。発表の様子は、学校運営協議会の皆さんにも視聴していただきました。



＜成果と課題＞

新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中、「草刈りボランティア」や「放課後学習」など、以前より取り組んできたことを継続でき、また学年行事での「見守りボランティア」のような新たな取り組みも行うことができました。さらに、探究的な学びを組み入れた「地域から学ぶ」活動として、「ふるさと学習」をスタートさせることができました。初年度で、試行錯誤しながら取り組んできた部分もあり、反省点を生かしながら、今後さらに充実した活動にしていきたいと思えます。

＜来年度の方向＞

今までの地域との関わりを継続しつつ、今年度よりスタートした「ふるさと学習」を、地域の多くの方々と協働する、「地域で学ぶ」探究的な学びとしてさらに充実させていきたいと考えています。

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

～地域から学び、地域へと関わる～

2020年、コロナ禍の中で取り組んだこと

本年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、さまざまな活動を実施することができませんでした。特に、地域の方々と関わるコミュニティ・スクール活動は、人が集まる活動が大きく制限されたため、地域との交流そのものが実施することが難しくなり、ほとんどの活動で中止や縮小を余儀なくされました。その中で、行うことができた部分について紹介します。

<総合的な学習の時間「絆」での取り組み>

1学年では例年、総合的な学習の時間「絆」での、地域の特産品であるぶどうについて学ぶ取り組みを「桔梗ヶ原ぶどう学」と名付け、その一環として、学校にあるぶどう園のぶどうを地域のぶどう農家の方から教えていただきながら育ててきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域の方から直接教えていただくことができませんでした。かわりに学校職員が地域の方に教えていただき、その内容を生徒に伝える形でぶどう栽培に取り組みました。

[かさかけの様子]



残念ながら例年ほどの収穫を上げることはできませんでしたが、今年も育てたぶどうの一部をジャムに加工し、生徒がデザインしたラベルを貼って配布しました。昨年までは一部を文化祭で販売し、収益は義援金として市の社会福祉協議会に寄付していましたが、今年は販売に回すほどの数はできませんでした。

[ジャムの瓶にラベルを貼る]



<全校草取り作業での、地域ボランティアの方の協力>

文化祭前の全校草取り作業も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年のような地域のボランティアの皆さんと一緒にやる形では行いませんでした。事前にボランティアの皆さんに刈っていただいた草を、別日に生徒の活動時間を設けて集め、片づけました。

[事前の草刈り作業]



[草が乾いた頃に生徒が集め、片づける]



<地域と関わる活動>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、生徒会を中心に取り組んできたさまざまな地域と関わる活動が、本年度は実施できませんでした。

[本年度実施できなかった、地域と関わる生徒会の取り組み]

○「洗馬児童館夏祭りボランティア訪問」

全校生徒からボランティアを募り、児童館の夏祭り運営に協力。各コーナー設営の手伝いや利用者のお子さんとの交流のほか、塩尻西部中独自のコーナーも設置して運営。令和元年度は68名の生徒が参加。

○「高齢者施設『なごみ』でのボランティア活動」

全校生徒からボランティアを募り、清掃活動などのボランティア活動の他、利用者の皆さんとの交流活動も行う。令和元年度は31名の生徒が参加。

○「宗賀地区文化祭でのボランティア活動」

3年生の生徒会役員がボランティアとして運営に参加し、物品販売や抹茶体験コーナーなどを手伝える。令和元年度は20名の生徒が参加。

感染症対策として、多くの方々と関わる活動、特に高齢者の皆さんと関わる活動は大きく制限されました。

そのような中でしたが、吹奏楽部が地域へ招かれて演奏をする機会もありました。

また、学校施設開放の「まなび庵」を利用されている「絵画教室」の皆さんの描いた絵を校内に飾らせていただく活動も、継続していただいています。

学習支援ボランティアの方による毎週水曜日の「放課後学習」の取り組みも、本年度も行うことができました。

まだまだ元のようにするには時間がかかると思いますが、「地域からの学び」と「地域との関わり」を軸とした「地域から学校へ」「学校から地域へ」の双方向の取り組みを継続できるよう、努力していきます。

[ふれあいセンター洗馬での吹奏楽部の演奏]



[絵画教室の皆さんの作品]



地域から学び、地域へと関わる

～総合的な学習の時間「絆」と生徒会の取り組み～

塩尻西部中学校コミュニティ・スクール

<総合的な学習の時間「絆」での1学年での取り組み「桔梗ヶ原ぶどう学」>

地域のぶどう農家の方から教えていただきながら、学校にあるぶどう園のぶどうを育ててきました。



また、生徒一人一人がぶどうについての追究課題を設定し、専門家の方からぶどうについての話をお聞きしたり、個々で取材や調査をしたりしながら、学習を深めました。



育てたぶどうの一部はジャムに加工し、生徒がデザインしたラベルを貼って文化祭で販売。収益は義援金として市の社会福祉協議会に寄贈しました。

また、課題追究学習の成果は、新聞形式でまとめ、文化祭で発表しました。その後、地域の文化祭や、桔梗ヶ原開拓150周年記念式典でも展示発表しました。



<生徒会活動 地域との関わり取り組み>

○ 洗馬児童館夏祭りボランティア訪問

全校生徒からボランティアを募り、児童館の夏祭り運営に協力しました。当日は、各コーナー設営の手伝いや利用者のお子さんとの交流のほか、塩尻西部中として独自のコーナーも設置し、かき氷やチョコバナナの提供などを行いました。68名の生徒が参加しました。



○ 高齢者施設「なごみ」でのボランティア活動

こちらも全校生徒からボランティアを募り、清掃活動などのボランティア活動の他、利用者の方々との交流活動も行いました。31名の生徒が参加しました。



○ 宗賀地区文化祭でのボランティア活動

3年生の生徒会役員20名がボランティアとして運営に参加し、物品販売や抹茶体験コーナーのお手伝いを行いました。



総合的な学習の時間「絆」のなかでの「地域からの学び」と、生徒会活動のなかでの「地域との関わり」を通して、

- ・地域との「つながり」をより深め、
- ・学校からも地域に関わっていく「広まり」を進め、
- ・学校が地域と関わっていく意識を「深める」

ことを目指してきました。「地域から学校へ」「学校から地域へ」の双方向の活動を活性化することでそれらを実現していきます。

「西部中 地域 連携・貢献・循環 2018」

塩尻西部中学校コミュニティ・スクール

キャリア教育

～地域の特産物をとおして～【地域の歴史、栽培、加工、販売、義援金寄付等】



地域ミュージアム
校舎併設の生涯学習施設「まなび庵」の絵画教室の絵画を展示



飾ってあるのを初めて見たが、大事にされているようでうれしい。

作者の方より

ランチミーティング ～情報交換会～



年3回、美味しい学校給食を味わいながら、西部中コミスクを支えていただいている地域の方、生徒、教職員が西部中コミスクの情報交換をしています。

【 ○「成果」 ▲「課題」 ■「来年度に向けて」 】

- 今年度、新たに地域教育資源をより一層活用して地域との連携が図られ、また、それによって生徒たちの地域貢献に発展した循環型のコミスク活動につながる事ができた。
- ▲ 自分たちの住む地域の課題と地域貢献のあり方。
- 地域の課題を自分たちの問題として捉え、生徒自らが主体的に取り組むコミスク活動。

連 携 ・ 協 働

～地域をつなぐ～

塩尻西部中学校 コミュニティ・スクール

■学校運営協議会

【第1回学校運営協議会】4月

- ◇ 学校経営方針・運営計画（グランドデザイン）の承認
- ◇ 熟議 「目指す子どもの具体像と地域・学校等の役割」
 - ・この学校の子どもがどのように育てほしいか（願い・希望）
 - ・委員それぞれの役職・立場からできそうなこと・できること（行動）



【第2回学校運営協議会（校区学校運営協議会）】7月

- ◇ 各校の1学期運営状況について（報告）
塩尻西部中学校・・・通学路の草刈り作業・学校給食レストランの開催
- ◇ 熟議 「小中一貫して育てたい子どもの姿」



【第3回学校運営協議会】12月

- ◇ 本年度の学校運営状況（学校自己評価結果、全国学力・学習状況調査結果）の報告
- ◇ 熟議 ①「まなび庵の利活用」②「情報モラルの啓発」③「生徒数減少にともなう課題」
 - ① 生徒のニーズに応え、水曜日の放課後の学習支援につなげる。人材の確保。
 - ② 生徒に正しい活用の仕方を教える。親（責任者）への啓発。家庭内でのルールづくり。
 - ③ PTA 組織改革、行事の精選の必要性。部活動、委員会活動の精選の必要性。

※ 来年度に向け本校の課題についてグループごとに活発な意見交換がされた。



【第4回学校運営協議会】2月（予定）

- ◇ 熟議 「今年度のまとめと来年度に向けて」

【学校給食レストラン（ランチミーティング）】

- ◇ 学校開放日に合わせて年3回実施
「ずっと現在のような自校給食を続けていってほしいです。たくさんの方のおかげでおいしい給食が食べられることに感謝して、生徒たちも育って行ってほしいです。」（参加者の声）



【学校運営協議会の成果と課題】

- 今年度は地域教育協議会委員とともに学校運営協議会委員にも通学路の草刈りを行っていただき、両協議会の連携が昨年度よりも図ることができた。
- 学校給食レストラン（ランチミーティング）の実施により学校や生徒の様子を知る一助となった。
- △ CSに関する理解が深められるような広報のあり方。



学校運営協議会長
大池佐一郎さん

学校・生徒への関心を地域の中で、さらに高めていきたい。

■地域教育協議会



ボランティアとの対面式



通学路の草刈り



Sタイム(補充学習)



読み聞かせ



ぶどう栽培学習



生け花教室

吹奏楽部による福祉施設訪問演奏



地域貢献

児童館夏祭りのスタッフ

福祉施設での交流・掃除

とっておきの話

聴いてくださるその方々の楽しんで
いる顔や喜んでる顔が、私たち吹奏
楽部のやりがいになっています。

(吹奏楽部員)

【地域教育協議会の成果と課題】

- 2年目に入り、学校と支援部の調整や連携が昨年度に比べると少しずつスムーズになってきた。
- 生徒会、吹奏楽部による活動をとおして、生徒の「地域貢献」への意識が高まってきた。
- ▲ 学校全体で地域と連携した「地域貢献」について、今後どのような取組みができるか考えていきたい。



地域教育協議会長

唐沢淳子さん

支援のあり方も含め、皆様方のお知恵をお借りしながら前に進めていきたい。

地域と学校がともに手をとり、互いが「元気」になるコミュニティ・スクール

塩尻西部中学校

学校も 地域も
「元気に！」をめざ
して！

- 目指す子ども像の共有
「地域の地場産業を大切にし、
将来、地域で活躍できる人材」
- 安心・安全な学校生活づくり



地域の方による学習支援
葡萄栽培学習



地域の方による学習支援
補充学習 (Sタイム)



生徒ボランティアによる
福祉施設との交流



地域の方による
本の読み聞かせ

生徒の安心安全にかかわって 登下校時の熊対策



整備前 (before)



地域への作業告知

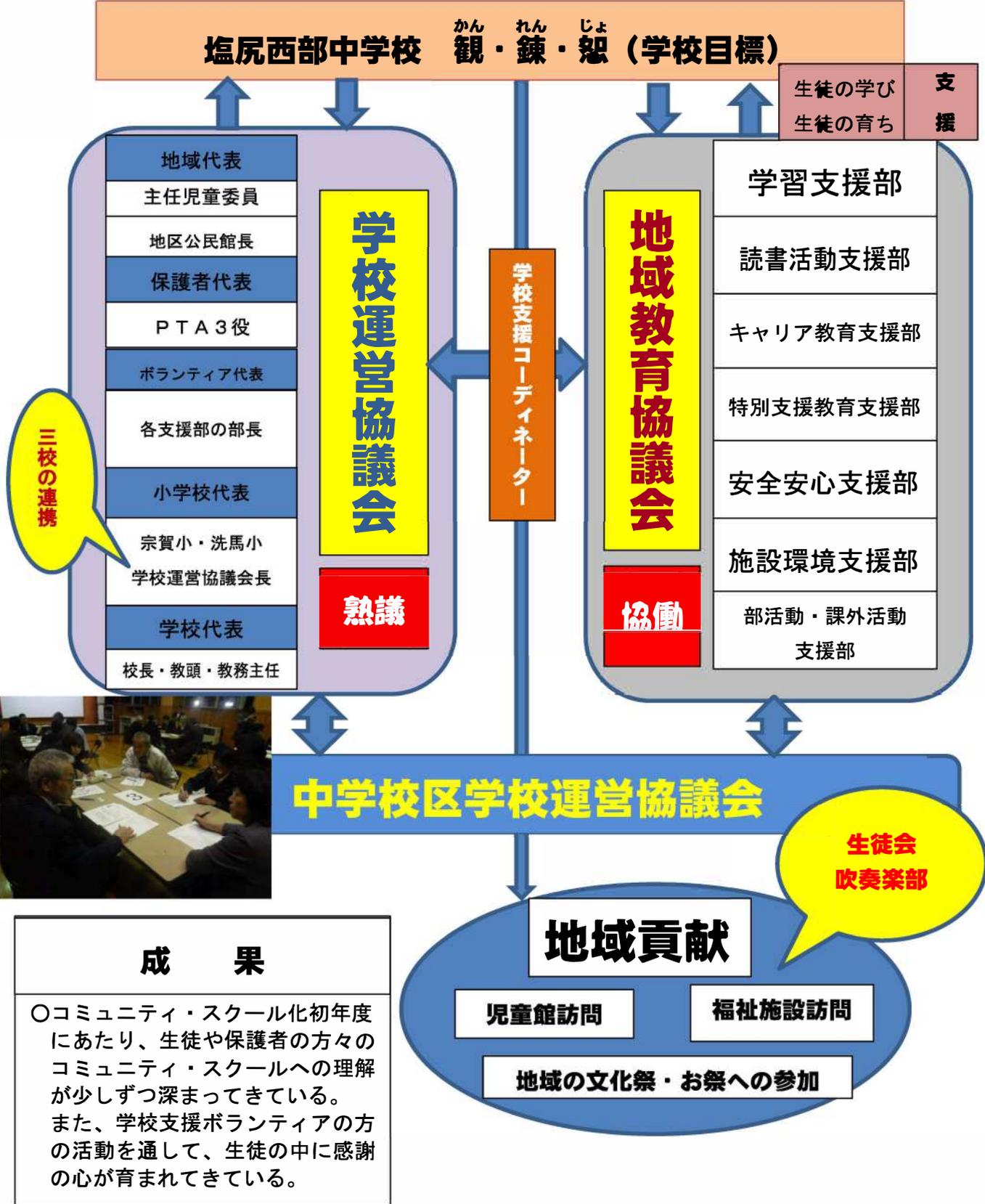


安全安心支援部



整備後 (after)

塩尻西部中学校コミュニティ・スクールの推進組織



《特別寄稿》コミュニティ・スクールの10年を振り返る



宗賀小学校 学校運営協議会長 丸山 保

コミスク10年目、当初「地域は何をしたらいいのか？」から始まったが、心配をよそに宗賀小から積極的な攻勢を受けた。既存の行事への参加は勿論、人手不足で出来ない行事などへのお手伝いを提案してきた。そこで以前からあった、読み聞かせ、ブドウ栽培、生け花、等々の活動の他、「学校からの要望には全て対応する」という考えで「何でも屋」の学習支援グループを作った。グループは宗賀地域振興会の中の「どんぐりプロジェクト♪」を母体にして、行事ごとにリーダーの采配でその道のプロを随時集め対応をしている。今では子ども達とも馴染んで、一緒に遊んでもらっている。この集団も、高齢化が進みいかに若い人を引っ張り込むかが課題である。

宗賀小学校 地域教育協議会長 木村 奈都



私は、読み聞かせの活動を中心に宗賀小コミュニティ・スクールと関わってきました。毎月2回ほど実施される読み聞かせは、子どもたちと一緒に物語の世界を楽しむ幸せな時間です。また、年間を通しての活動なのでクラスとして成長していく姿も見守ることができ感動します。

コミスクがスタートして10年、宗賀小ボランティアは人数が増え幅も広がり学校との繋がりも強くなりました。毎年、先生方や子ども達と一緒に様々なチャレンジをし、変化を続けてきました。ただ、子ども達への眼差しは変わらなかったように思います。

子ども達が今も未来も笑顔でいられるよう、これからも子ども達や先生方と一緒に考えて楽しんでいきたいと思っています。



洗馬小学校 CS会長 大栗 克実

CSがスタートして10年目、洗馬小学校では、地域住民などの善意で修復できた「寄贈ピアノのコンサート」、ささらを地域の皆さんと一緒に作り運動会で踊る「洗馬民謡のささら踊り」、地区全戸に配る「洗馬っ子スクールだより」など、他にも地域の皆さんに応援して頂いている活動が沢山あります。これら全ての活動は、多くの人達が苦しんだコロナ禍でも、皆さんの工夫と努力・協力により途切れる事もなくのり越えてきました。

これからはICT教育も更に進展して周りの環境も大きく変わって行くと思われませんが、CSの活動も時代の変化に応じてレベルアップをしながら継続し、地域と学校が協働して子ども達が新しい時代に向かって、大きく羽ばたける様に努力して行きたいと思っています。

洗馬小学校 CS副会長 波多野 光男



この10年間、支えていただいた多くのボランティアの方に敬意を表します。今後とも変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。学運協の会議の中で熟議の時間があります。私は当初苦手でした。なぜなら今まで経験した会議は受動的な立場が多く、また自分の回りに子どもの存在がなく、「意見など出ないよ」という考えがありました。共感される方と、反面「思ったことを言えばいいよ」という方もいらっしやと思います。実際、熟議が始まると多くの発言があり時間が足りないうらい盛況な会議となっております。今でも苦手意識はありますが、終わってみると達成感と連帯感があります。これからも多くの意見を出し合っより良いCSにしていきたいと思います。

塩尻西部中学校 学校運営協議会長 三溝 隆



「子どもたちが地域に返してくれる！」
令和7年4月から会長として関わらせていただいている洗馬公民館の三溝です。この役割を担ってから、ボランティアの皆さんが、草刈り等の環境整備、読み聞かせ、「ふるさと学」等様々な形で子供たちと関わってきていることを知りました。西部中では昨年、子どもたちが主体的に地域に恩返しをしていく「孫の手プロジェクト」という活動が始まりました。この活動の中で、地域の祭りやイベントに参加してくれる子どもたちの生き生きとした様子を見ると、「こんなにフレンドリーなんだ」、「このまますくすく育てほしい」と感じたり、子どもと大人も「人與人」だと思わされます。

これらの活動が無理なく継続していってくれればと願っています。

塩尻西部中学校 地域教育協議会長 横山 裕美



「小学校で読み聞かせしてくれましたよね～」数年前買い物の際にレジ担当の学生バイトらしき若い女性に声をかけられました。また2021年に塩尻西部中1年生の上高地・乗鞍校外学習に付き添いで行った時、宿泊した部屋を掃除してくれた男子生徒が「小学校で読み聞かせをしてもらいました。声で分かります。」と言っていました。2人とも良くぞ覚えていてくれました。感謝感激です！塩尻市コミュニティ・スクールは今年10年目ですが、学校支援ボランティア制度はすでに20年程前にスタートしていました。コミュニティ・スクール、とは「地域の学校、です。この先ずっと地域の大人と子どもがお互い感謝をしながら交流し続けていけたら最高ですね！

学校支援コーディネーター 山本 栄次



地域と学校との関わり方について
地域と学校との関わりは、子どもたちの健全な成長を支えるうえで欠かすことのできない大切な連携だと思えます。学校は、学習や生活を通じて子どもの知育・徳育・体育を育む場であり、地域は子どもたちの生活の基盤です。双方がそれぞれの役割を尊重しながら協力することで、子どもたちに豊かな体験を提供し、より良い教育環境を築くことができると思います。特に、地域の大人が子どもと関わることで、世代間の繋がりが生まれ、又地域全体の温かい風土が生まれ、子どもたちが地域の歴史・文化・産業に触れる機会を得ることは、将来の地域づくりを担う人材を育てることに繋がると考えます。

● 参考「地域と学校とで協働して育てたい子どもの姿」〈2017（平成29）年度策定〉

〈塩尻東小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 心身ともに健康で、元気で意欲的な子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学び、チャレンジする子ども〈課題発見力・解決力や行動する力の育成〉

〈塩尻西小〉

- 自他を大切にでき、思いやり溢れる子ども〈自尊感情と愛他心の育成〉
- 他とのつながりを大切にしながら自分を的確・適切に表現できる子ども〈人間関係構築力の育成・人権感覚の育成〉
- あきらめず、前向きに生きられる子ども〈成功体験・チャレンジ精神の育成〉



〈塩尻中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性、自立心・自律心の育成〉

【塩尻中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働しながら主体的に活動できる子どもの育成
- 心身ともに健やかで、自己実現に向け学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈桔梗小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 笑顔があふれ、心が優しい子ども〈前向きな生き方・人間関係構築力の育成〉
- 憧れを持ち、夢に向かう子ども〈より高い生き方を求め行動する力の育成〉

〈広丘小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大事にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- よく学び、体を鍛え、夢に向かい進む子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 相手の気持ちが分かり、協調して活動ができる子ども〈愛他心・協調性・チームワーク〉

〈広陵中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切に、様々な人と協働して活動ができる子ども〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【広陵中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 多様な人と協働して活動できる子どもの育成
- 様々な課題を解決しながら、自己実現に向けて学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈片丘小〉

- 心身ともに健やかで明るい子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども〈人間関係構築力の育成〉
- 主体的に学びに向かう子ども〈課題発見・解決力、自学力の育成〉

〈吉田小〉

- 社会の基本的ルールやモラルが守れ、相手を思いやれる子ども〈社会力・人間力の育成〉
- 自分の将来を描き、それに向かい動く子ども〈学力向上・体力向上・キャリア教育推進〉
- 自他の気持ちを理解し、協調して活動ができる子ども〈自尊感情・愛他心・協調性の育成〉

〈丘中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、自他を思いやる心、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉



【丘中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

〈宗賀小〉

- 心身ともに健やかで元気な子ども〈自尊感情の育成、健康的に生きる力の育成〉
- 思いやりにあふれ、助け合える子ども〈愛他心・協調性・人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学べる子ども〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成〉

〈洗馬小〉

- 挨拶等がしっかりでき、人とのつながりを大切にする子ども
〈自尊感情や愛他心の育成、人権感覚の育成、人間関係構築力の育成〉
- 主体的・自主的に学び、夢に向かい進む子ども
〈課題発見・解決力の育成、自学力の育成、キャリア教育の充実〉
- 自分の考えを的確に適切に伝えながら、他と協調して活動ができる子ども
〈コミュニケーション力、愛他心、協調性、チームワーク〉



〈塩尻西部中〉

- 心身ともに健やかでたくましい子ども
〈自尊感情の育成、タフに生き抜く力、社会力・人間力の育成〉
- 夢を持ち、夢の実現に向け努力する子ども
〈自ら学ぶ力・学び続ける力の育成、キャリア教育推進〉
- 人とのつながりを大切にし、様々な人と協働して活動ができる子ども
〈チームワーク、協調性、協働性、社会力の育成〉
- 自ら考え、適切に判断し、行動できる・語れる子ども
〈課題発見力、課題解決力、創造力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力、自主性・自立心、自律心の育成〉

【塩尻西部中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 心身ともに健やかで、多様な人と協働して活動する子どもの育成
- 自己実現に向け主体的に学び続ける子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語れる子どもの育成

楡川中学校区〈楡川中・木曾楡川小〉⇒令和4年度より楡川小中学校（義務教育学校）

【楡川中学校区において小中一貫した9年間で育てたい子どもの姿〈3本柱〉】

- 温かい人間関係を築くことができる子どもの育成
- 心身ともにたくましく、自立し、未来を拓く子どもの育成
- ふるさと（地域）の過去と現在を学び、知り、誇りと愛着をもち、地域の未来を拓き・語る子どもの育成

【両小野中学校区〈両小野学園〉において保小中一貫した12年間で育てたい子どもの姿】
ふるさと「たのめの里」を知り、共に愛し、「たのめの里」に貢献できる子ども
～輝く「あいさつ」・響き合う「歌声」・深まる学び～

〈両小野小（辰野町塩尻市小学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- 「たのめ科」の充実
 - ・地域を知り、地域の方から伝統を継承し学び、地域を愛する子の育成
- 保小中一貫のために
 - ・「保小一貫」：校内巡り、プール交流、給食の試食、児童会祭り招待
 - ・「小中一貫」：6年生の中学校登校〈1ヶ月間〉、地域美化活動
 - ・「保小中一貫」：学園音楽祭



〈両小野中（塩尻市辰野町中学校組合立）〉

「たのめの里に生き、たのめの里の未来を切り拓く子どもの育成」

- アントレプレナー学習、プリリアント学習を通し
 - *地域を知り、地域の活性化について考え、人々と関わることで故郷を大切に思い、さらに好きになる。
- 「夢プロジェクト生徒会」
 - *アントレプレナー学習で見いだされた課題を、全校の活動にしていく、地域貢献型の両小野中モデルの生徒会を構想していく。



〈北小野保育園（塩尻市立）〉

- よりよい環境のもとで、のびのび過ごし、発達に応じた活動の積み重ねを行える保育園
- 子どもの個性や特性を大切にし、もっている力を十分に発揮し生活できるよう一人ひとりに応じた支援ができる保育園
- たのめの里の歴史ある郷土の文化を大切にし、「太鼓活動」や「地域ボランティアの保育園参加」を通して、地域を知り地域を愛する心を育てる保育園



〈小野保育園（辰野町立）〉

- 安心して預けられる保育園
- 一人ひとりの子どもの適切な援助ができる保育園
- 保護者と共に子どもの成長を支援する保育園
- 地域ボランティアの協力のもと、地域を知り、地域を愛する心豊かな子どもの育成



塩尻市内の全小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール活動が開始された平成28年度、学校運営協議会の熟議の中で「地域と学校とで協働し、どのような子どもを育てていくのか、その具体的なイメージを地域と学校とで共有する必要がある。」という意見が多く出され、翌年度（平成29年度）第1回目学校運営協議会の熟議（グループワーク）を通し各校のものが策定され、また第2回目の中学校区内小中合同学校運営協議会では「小中の9年間を通し、地域学校協働体制・活動により育てたい子どもの姿（資質・能力）」が策定されました。これらの「姿（資質・能力）」は策定後10年を経過した現在でも各CS活動を推進・評価していく上の指標となっています。

塩尻市教育委員会の窓から



2025年度塩尻市コミュニティ・スクール実践集のテーマ

10年間の成果を感じ、10年先を見据える
～これまで積み上げたものを次の時代につなげよう～

塩尻市コミュニティ・スクール（以下「コミスク」）が始まって今年で10年目となりました。上記のようなテーマを掲げ、様々な話し合いの場で10年を振り返り、成果や課題を共有し、これから10年先を見据えてどんなことができそうか、話し合う機会がつけられました。

今年度の実践集は、これまでの10年の歩みを振り返ることができるように、学校ごとに10年間の取組をまとめてみました。教頭先生を中心にまとめていただいた取組の様子は、1年間の中では大きな変化を感じる事が少なくても、10年間を続けて見てみると、地道に、着実に歩んできたことによる大きな力を感じることができます。その時その時の子どもたちの成長や学び、関わる先生方、保護者や地域の皆さんの様々なつながりによってこれだけの大きな力になることを実感できると共に、これから先に関わる人がかわっても、地道に着実に取り組んでいくことが、10年先につながっていくことを実感しました。また、コミスクの中心になって関わっていただいている学校運営協議会や地域教育協議会の会長さん、学校支援コーディネーターさんからも特別寄稿として書いていただいています。関わる期間に長短はあっても、その中で直に感じた思いや願いは今後につながる大事なものが詰まっています。

これまで塩尻市のコミスクに温かく関わっていただいた多くの皆さんに感謝を申し上げますと共に、今後も「できることを、できる時に」関わる人が増え、様々な立場の大人が共に語り合いながら、楽しみながら一緒に創っていくことで、子どもたちの笑顔あふれる成長や、つながりのある元気な地域になっていくことを願っています。

1 進化するコミスク

第3回学校運営協議会は、各学校で今年度を振り返り、成果や課題を生かして来年度への準備を進める会議として、どの小委員会や協議会でも、学校の熱い思い、地域の受け止め、もっとこうしたらというアイデア等が出されていました。これからもう一步進化するために、形ややり方などを変えてみようという動きが様々なところで見られます。自分たちの学校に合った形で、より活動を広げたり、学びを深めたりしていけるように、また、学校の願いを理解してより強い協力体制で充実した活動にしていけるように、見直しできるところはしていきましょう。

動きのある例をいくつか挙げてみます。

学校運営協議会

- 学運協委員の皆さんが参加しやすい時間帯に行く（第2回は先生方が参加しやすい時間帯に）。時間を変えて開催してみる。
- 熟議のテーマをより具体的なもの、誰もが気軽に意見が言えるものにしていく。
- 話し合いの様子や内容を先生方、欠席の委員さん、地域の方に共有していく。
- 全4回の見通しをもって進め、次年度に生かせるようにしていく。
- 一体的な取組を行うために学運協と地教協を一つの組織にしていく。
- 一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

地域教育協議会（地域学校協働本部）

- ・ボランティアの皆さんへの連絡方法の見直し（LINE スクールのお試し）。
- ・ボランティアの内容をより具体的に、できるだけ早めに伝えていく。
- ・保護者・PTA の皆さんにも内容を周知して、関わってもらえる人を増やす。
- ・関わっていただいた様子や成果をボランティア・保護者・PTA・地域の皆さん・先生方に周知できるようにする（CS フェスタやお礼の会の工夫）。
- ・一年間を通して取り組む目標（キャッチフレーズ）を考える。

今回の会議を通して、コミスクの取組の周知という点が、ポイントになってきていると感じました。まず、学校運営協議会の委員の皆さんにしっかり周知されているか、また周知されたことをそれぞれの立場で発信していただいているか。学校の先生方への周知はどうか。ボランティアの皆さん、地域の皆さんにどれだけ周知されているか。この点を今一度見直していきたいと考えています。

来年度から第6期（11・12年目）がスタートします。改めて、学校運営協議会委員の皆さんに役割や内容が分かるように、これまで続けている方にも確かめができるように「手引き」を作って配布する予定です。

2 11年目のスタートに当たって

来年度より、コミスクに関わる名称の変更と確認をお知らせします。

その1

- 支援から連携・協働、参画の取組みになってきている今、これからも更に協働の取組みが進められるよう、学校支援という言い方をやめます。

学校支援ボランティア → **CS ボランティア**

学校支援コーディネーター → **CS コーディネーター**

学校とボランティアの皆さんとの関係は対等、共に子どもたちのために取り組むパートナーです。そのために「CS ボランティア」という名前にしていきます。

「CS コーディネーター」は、コミスクの地域コーディネーターと地域学校協働活動推進員を合わせた役割です。今後も幅広く学校と地域をつなげていきます。

その2

- 活動に関わる大人が様々な立場の人になりつつあり、今後も更に様々な職種や立場の人々とつながっていく可能性があります。以下の名称は引き続き使用していきますが、国が発信している言葉と同じ内容であることを知っていただき、CS 活動の内容の充実に役立てていってください。

地域教育協議会（＝地域学校協働本部） **CS 活動（＝地域学校協働活動）**

地域学校協働活動とは、地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えると共に、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

★塩尻市コミュニティ・スクールに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

塩尻市教育委員会 学校教育課 教育企画係（地域連携コーディネーター）

〒399-0738 長野県塩尻市大門七番町4番3号

Tel (0263)52-0280 (代) 内線 3111 FAX (0263)52-4354